令和２年度

事　業　報　告　書

◆◇　目　次　◇◆

社会福祉法人　中山梅寿会 1
指定介護老人福祉施設　なかやま幸梅園..... 6
指定短期入所生活介護事業所　なかやま幸梅園..... 13
指定短期入所生活介護（介護予防）事業所　なかやま幸梅園..... 14
ケアハウス　なかやま幸梅園 17
指定通所介護事業所　なかやま幸梅園..... 24
指定通所介護（介護予防）事業所　なかやま幸梅園..... 26
総合福祉施設　なかやま幸梅園　厨房..... 31
指定居宅介護支援事業所　なかやま幸梅園..... 32
在宅介護支援センター　なかやま幸梅園..... 36
指定通所介護事業所　佐礼谷 44
指定通所介護（介護予防）事業所　佐礼谷..... 46
指定通所介護事業所　野中 50
指定通所介護（介護予防）事業所　野中..... 52
短期入所生活介護事業所　野中 57
短期入所生活介護（介護予防）事業所　野中..... 59
地域活動支援センター　くりのみ 63
指定相談支援事業所　　くりのみ 66

社会福祉法人　中山梅寿会

社会福祉法人　中山梅寿会

【基本方針】

迅速かつ適切な事業運営に取り組み、安定した経営を行うと共に、地域から求められたニーズにも可能な限り対応し、事業全般に切れ目のない連携を行う。

利用者本位の安心・安全に心掛け満足度の高いサービスを提供し、住み慣れた地域で暮らせる支援を行い、信頼と笑顔あふれる「日本一あったかいホームづくり」を目指す。

【具体的取り組み】

（１） コンプライアンスの徹底を図り、健全な社会福祉法人を継続する。
（２） 利用者に対し人権尊重を基本に、サービスの質の向上を図る。
（３） 各事業所のサービス内容を見直し、利用者満足度を高める取り組みを引き続き行い、利用者増加に繋げ経営の安定を図る。
（４） 地域から「なにを必要」とされているのか情報収集し、行政と連携を図り地域福祉の推進及び公益的な取り組みを行う。
（５） 将来的な経営資源(ヒト・モノ・カネ)を把握して収支の良化を図る。
（６） 「働き方改革」への対応により成長と分配の好循環を構築する。
（７） 令和 3 年(2021 年)に実施される、介護保険制度改正に向けての情報収集を積極的に行い、安定的な組織づくりに取り組む。
（８） 人材の確保に向け、各種情報サービスを見極めて利用する。
（９） 地域各種組織との連携を図りつつ各事業所の災害・防犯対策を強化する。

【総合評価】

達成度(%)　　85%

＜評価＞

① 100%

今年度も達成しているが、継続的使命として次年度にも繋げる。

② 90%

重大な苦情等はなかったが、更なる向上心を持ち次年度にも繋げる。

③ 90%

主たる介護保険全体の利用者数では 31,347 人、昨年比較で＋1.2%(384 名)の増加となり収支にも好影響をもたらせた。

④ 70%

新たな事業として 2 年度 9 月より中山コミュニティーセンターの指定管理業務の運用を開始した。集会室と介護予防拠点施設を兼ね備えた複合施設であるが、

集会所の使用頻度については 18 回(うち在支の予防教室等 7 回)と少なく、今後は周知拡大に努める。

⑤ 90%

今年度はコロナ禍の中、長期的な感染対策・対応を考慮して、消耗品および対策物品等の購入が別途必要となったが、助成金等を利用した対応ができ、経費負担の減に繋がった。

⑥ 90%

「働き方改革」に向けて、就業規則や規定等の一部変更を立案すると共に、3 年度 4 月より運用する準備ができた。業績による分配についても検討が行えた。

⑦ 85%

令和 3 年度は、基本報酬の見直し改定以外にも感染症や災害への対応が新たに追加された。認知症の対応力の強化、介護人材確保、自立支援・重度化防止は引き続き重点項目となった。例年のような説明会が実施されず、ポイント箇所の詳細な情報収集にかなり苦戦したのが実態であった。

⑧ 70%

職員からの紹介制度を周知でき、現実化に向け進めることができた。また各種情報サービスに対してのアプローチと確認を行うことで使用に対しての精査が行えた。

⑨ 80%

各事業所において活動及び訓練を概ね実施できたが、地域の協力を得る合同訓練についてはコロナの影響もあり未実施となった。

1. 各委員会活動

令和2年度

委員会名	主な活動内容	年回数
【ナース会】 ・感染症・褥瘡対策	■感染症の予防と発生時の対応に関する取り組み ■褥瘡の予防と発生時の対応に関する取り組み	12
【相談員会】 ・事故防止・身体拘束 ・車両委員 ・相談員	■身体拘束廃止に関する取り組み ■事故の予防と発生時の対応に関する取り組み ■車両の安全運行及び車両管理 ■行事計画・リスク管理・各事業所との連携	12
【生活支援委員会】 ・ターミナル委員・入浴委員 ・ケアプラン委員	■特養入居者のケアプラン業務運営 ■特養入居者の看取りに関する取り組み等 ■入浴環境の改善・入浴用品の見直し	12
【リハビリ委員会】	■生活援助に向けた環境整備とリハビリ	4
【排泄委員会】	■入居・利用者の排泄の見直し・排泄用品の見直し	2
【食事委員会】	■入居・利用者の食事形態の見直し及び環境整備	6
【広報委員会】	■年4回の広報誌の作成運営	5
【研修委員会】	■施設内外の研修の立案・実施	3
【接遇委員会】	■職員の質の向上に向けた取り組み	2

【職員会】	法人・施設方針の確認、研修や各委員会報告等	12
【運営会議】	施設運営に関する問題解決の取り組み	24
【安全衛生委員会】	安全衛生に関わる内容	12
【防災委員会】	防災対策等に関わる内容	12
【身体拘束等適正化委員会】	身体拘束廃止に関する取り組み	4
【特養会】	特養における諸問題の解決に向けた取り組み	12
【パート会】	職員間の連携と調整	1
【医療安全】	各事業所の連携・勉強会の立案実施及び医療安全	12
【厨房部会】	調理における諸問題の改善に向けた取り組み	4

2. ボランティア状況（不定期）

コロナ禍により不定期もしくは中止(開催方法の変更有)

令和2年度

	クラブ等名	ボランティア	
月/1回	フラワーアレンジメント	中塚道子	0回
月/3回	音楽クラブ	一色康子・・・・各事業所単位に変更	36回
月/2回	書道クラブ	西山一幸・西山和子	0回
月/3回	シーツ交換ボランティア	町内協力者　40名	0回

3. ボランティア状況（不定期）

コロナ禍により不定期もしくは中止

令和2年度

日	ボランティアグループ名	内容
9/14	中山地区老人クラブ会員　代表者 3名	中山地区老人クラブ会員による物品等寄贈
9/24	中山中学校	マスク寄贈
12/17	中山地区民生児童委員	施設清掃ボランティア　屋外窓清掃　竹伐採作業

4. 園内研修

令和2年度

月日	研修内容	講師名
5月	法令順守・プライバシー保護・身体拘束適正化に関する勉強会	各事業所責任者
6月	感染症(食中毒予防他)勉強会(各事業所)	感染症対策委員会
7月	事故防止勉強会(各事業所)	事故防止委員会
8月	褥瘡勉強会(各事業所)	褥瘡対策委員会
9月	感染症(新型コロナウイルス関係)勉強会(各事業所)	感染症対策委員会
10月・11月	救急救命講習会	消防署・救命士
11月	認知症勉強会	森平相談支援専門員
12月	事故防止勉強会	㈱曽我商会
1・2月	身体拘束に関する勉強会(各事業所)	権田施設長
2・3月	褥瘡予防勉強会(各事業所)	褥瘡対策委員会

5. 園外研修　　別紙１

別紙1

研 修 会 参 加 記 録

令和2年度

No.	日　　程	研　　修　　会　　名	開 催 地	参　　加　　者　　氏　　名	備考
1	7月26日	障がい者芸術文化祭　説明会	松 山 市	矢野雄大	
2	9月12日	愛大附属病院　認知症疾患医療センター講演会・事例検討会	東 温 市	権田哲郎・正岡美香・武智正輝	
3	10月6日	安全運転者管理者講習会	松 前 町	一木達矢	
4	10月8日	65歳超雇用推進セミナー	松 山 市	権田哲郎	
5	11月4日	新型コロナウイルス対策実施研修会	松 山 市	金山正江	
6	12月5日	介護塾in愛媛　どこでケアする？してもらう？	松 山 市	横山裕子	
7	1月20日 ～1月21日	障害者職業生活相談員資格認定講習	松 山 市	一木達矢	

※ 他にZoom・eラーニング等を利用しての個別勉強会実施あり

6. 施設見学　　7. 施設実習　　コロナ禍により中止

8. 行事

令和2年度

	行　　事
4月	花見
5月	母の日会
6月	父の日会・焼肉パーティ
7月	焼肉パーティ(佐礼谷・野中)
8月	夏祭り・慰霊祭・そうめん流し・老人クラブ訪問
9月	敬老会
10月	芋炊き会・地方祭・餅つき
11月	文化祭(野点・演芸会・バザー)
12月	シェイクアウト(地震防災)訓練・忘年会・クリスマス会・しめ縄作り・餅つき
1月	歳旦祭・新年会
2月	節分「豆まき」
3月	

9. その他

令和2年度

月日	主 な 内 容
4/9	害虫駆除
4/15	入所判定会
5/14	害虫駆除
6/1	監事監査
6/9	害虫駆除
6/11	第1回理事会
6/12	風水害防災訓練
6/26	第1回評議員会
6/28	循環配管除菌洗浄
7/2	レジオネラ菌検査
7/9	害虫駆除
7/15	入所判定会
7/15	消防設備点検
7/31	火災防災訓練

月日	主 な 内 容
8/11	害虫駆除
8/12	実地指導(特養・短期入所幸梅園・ケアハウス)
9/3	害虫駆除
9/6	全館掃除
9/15	実地指導(くりのみ)
10/2	害虫駆除
10/15	入所判定会
11/5	害虫駆除
11/27	第2回理事会
11/29	カーペット清掃
12/4	害虫駆除
12/17	地震・火災防災訓練
12/22	全館掃除
1/13	害虫駆除
1/15	入所判定会
1/19	受水槽清掃
1/28	消防設備点検
2/8	害虫駆除
3/10	害虫駆除
3/17	第3回理事会
3/18	地下タンク漏洩検査
3/25	第2回評議員会

指定介護老人福祉施設　なかやま幸梅園

【重点目標】

① 個別ケアの原点に立ち帰り、再アセスメント作業や計画の実施状況及び、モニタリング（評価）を踏まえた計画の見直し等、ＰＤＣＡに沿ったケアマネジメントの抜本的な改革に取り組み、ケアの充実を図ると共に、併せて不適切ケアの解消に取り組み、サービスの向上に繋げる。

② ノーリフティングケア導入後の安全性や業務状況等に関する総合的な検証及び、評価を行うことにより、更なる適正運用を目指す。

③ 入居者全体の重度化、あるいは容態の急変等、医療ニーズが高まる中で、日常的な健康管理をはじめ、小さな状態変化の観察及び、ターミナル期における体調把握など、介護との体制強化を図り、迅速、適切に対応し、利用者の体調安定に繋げる。

④ 家族会との連携を図り、接遇や環境作り等、施設サービス全般に関する評価を行うと共に、家族との交流機会を確保し、家族会活動の推進及び、機能強化を目指す。

⑤ 引き続き、地域内の福祉ニーズを探りつつ、積極的に地域貢献活動に取り組む。

【総合評価】

達成度(%)　80%

＜評価＞

① 90%

個別の利用者担当及び､介護支援専門員による定期的なケアプランの見直し及び､評価をベースとして、その他、排泄、褥瘡予防、ターミナル等、各委員会とも連携しながら様々な生活課題の改善やケアの向上に取り組んだ。また、部署内において身体拘束に関する勉強会の機会を捉えて不適切ケアの解消に向けての意識を高める取り組みを行った。

② 95%

ノーリフティングケアの取り組みについては床走行式リフトの安全適正な運用は概ね定着し、更なる効率化及び故障等のリスク分散の目的にて 1 機を追加整備し､併せて立位保持が困難な利用者に対して単独で安全な移乗を可能とするスタンディングリフトを追加整備したことで更に介護スタッフの負担軽減及び､業務効率化に繋がった。

③ 75%

看護師を中心に日常的な健康管理に関しては概ね適切に実施できたことで､入所者が長期入院することなく安定した体調を維持できた。また、一方で、ターミナルの対応については医師との連携体制や､家族への連絡のタイミング等､部分的

な課題があることから今後、検討して改善を図りたい。

④ 75%

家族会活動については新型コロナウイルス感染の影響により計画していた活動は実施に至らなかったが、定期的に施設内部での日常の様子や行事等、活動参加の様子を写真で家族に知らせた。また、家族からのメッセージを入居者に伝えるなど、双方の安心に繋がる支援を行った。

⑤ 65%

地域貢献に関する活動は限定的な実施に留まったが、コロナ感染状況を見極めつつ、新たな交流方法の開発等、地域との交流再開に向けた準備を進めたい。

指定介護老人福祉施設(定員　30名)

１．市町村別

令和3年3月31日

出 身 地	男　　性	女　　性	合　　計
伊予市(中山町)	5	19	24
伊予市(双海町)		1	1
伊予市(旧伊予)	3	2	5
合　　計	8	22	30

２．年齢構成

令和3年3月31日

年 齢	男性	女性	合計
～　64歳		1	1
65　～　74歳	1	2	3
75　～　79歳	1		1
80　～　84歳	1	4	5
85　～　89歳	2	8	10
90　～　94歳	3	4	7
95　～　99歳		2	2
100歳～		1	1
合　　計	8	22	30

平均年齢

男　　性	84.9歳
女　　性	86.7歳
全　　体	85.8歳

３．在籍期間

令和3年3月31日

在 籍 期 間	男性	女性	合計
1年以内	2	5	7
1年以上～2年未満	3	5	8
2年以上～3年未満		2	2
3年以上～4年未満	1	2	3
4年以上～5年未満	1	2	3
5年以上～6年未満			
6年以上～7年未満		1	1
7年以上～8年未満			
8年以上～9年未満		1	1
9年以上～	1	4	5
合　計	8	22	30

４．身体状況

障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

令和3年3月31日

	男性	女性	合計
正常			
J1			
J2		1	1
A1	2	1	3
A2		4	4
B1	2	3	5
B2	1	9	10
C1	1	1	2
C2	2	3	5
合計	8	22	30

※「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」による

認知症高齢者の日常生活自立度

令和3年3月31日

	男性	女性	合計
正常			
Ⅰ		2	2
Ⅱa	1	3	4
Ⅱb		3	3
Ⅲa	4	8	12
Ⅲb	1		1
Ⅳ	2	5	7
M		1	1
合計	8	22	30

※「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」による

５．要介護度の推移

令和3年3月31日

	男性	女性	合計
要介護1			
要介護2	1		1
要介護3		3	3
要介護4	7	10	17
要介護5		9	9
合　計	8	22	30

令和2年3月31日

	男性	女性	合計
要介護1			
要介護2	1		1
要介護3		4	4
要介護4	6	13	19
要介護5		5	5
合　計	7	22	29

平成31年3月31日

	男性	女性	合計
要介護1			
要介護2	1	2	3
要介護3	1	3	4
要介護4	7	10	17
要介護5		6	6
合　計	9	21	30

平成30年3月31日

	男性	女性	合計
要介護1		2	2
要介護2		1	1
要介護3	1	2	3
要介護4	6	8	14
要介護5	2	8	10
合　計	9	21	30

	平成30年3月31日	平成31年3月31日	令和2年3月31日	令和3年3月31日
要介護1	2			
要介護2	1	3	1	1
要介護3	3	4	4	3
要介護4	14	17	19	17
要介護5	10	6	5	9
合　計	30	30	29	30
平　均	3.96	3.87	3.96	4.13

６．入退居状況

令和2年度

	在籍者数		入退居者数				
	平均入居者数	のべ人数	在籍者数	入居者数	退居者数		
					施設死亡	病院死亡	その他
	人	人	人	人	人	人	人
4月	29.6	887	31	1			
5月	30.0	930	30				
6月	29.8	894	31	1	1		
7月	29.8	923	31	1	1		
8月	30.0	930	30				
9月	29.8	895	31	1	1		
10月	30.0	930	31	1	1		
11月	30.0	900	30				
12月	29.7	920	32	2	2		
1月	29.8	923	31	1	1		
2月	29.0	840	30				
3月	29.8	924	31	1	1		
合計		10,896		9	8		

稼働率

令和　2年度	99.50%
令和　1年度	98.58%
平成 30年度	110.06%
平成 29年度	99.60%

７．入院状況

令和2年度

	入院日	退院日	病　　名	日数	入院場所	備考
1	該当なし	該当なし	※該当なし		※該当なし	
2						
3						
4						
5						

入院延べ日数

令和　2年度	0日
令和　1年度	137日
平成 30年度	44日
平成 29年度	44日

８．受診状況

令和2年度

	総数	内科		外科		精神科		整形		皮膚科		泌尿器科		眼科		歯科		耳鼻科		婦人科		救急
		内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	
4月	83	47				13										23						
5月	93	56	1			10										26						
6月	125	86				12										25	2					
7月	109	65			2	14							1		1	26						
8月	87	54				12										21						
9月	97	60	1			14									1	21						
10月	130	86				13					2				1	28						
11月	107	59	1		1	12					4				1	29						
12月	128	93				12										23						
1月	123	90				11									1	21						
2月	93	56				12										25						
3月	129	91				11							1		1	24	1					
計	1,304	846		3		146				6		2		6		295						

９.クラブ活動・レク活動

令和2年度

曜日	クラブ・レクリエーション活動
日	ビデオ鑑賞他
月	フラワーアレンジメント他
火	ふれあい時間（爪切り・耳掃除）
水	カラオケ他
木	スポーツ他
金	音　楽　クラブ
土	喫　茶

10．行事

令和2年度

4月	花見
5月	母の日会
6月	父の日会・焼肉パーティ
7月	
8月	夏祭り・慰霊祭・そうめん流し・老人クラブ訪問
9月	敬老会
10月	芋炊き会・地方祭・餅つき
11月	文化祭（野点・演芸会・バザー）
12月	シェイクアウト（地震防災）訓練・忘年会・クリスマス会・しめ縄作り・餅つき
1月	歳旦祭・新年会
2月	節分「豆まき」
3月	

11.事故状況　（医療機関受診を伴う事故）

	月日	性別	事故内容	場所	事故状況	対応・処置等
1	5月31日	女	バルーンカテーテル抜去	トイレ	就寝前にトイレ希望あり誘導、パット内失禁あり。確認するとバルーンカテーテル抜去しているのを発見し、看護師に報告する	看護師から主治医へ連絡し、Drの指示によりバルーンカテーテル挿入する。その後、様子観察し、特に異常なし。その旨、家族にも報告する
2	2月1日	女	バルーンカテーテル抜去	居室	便失禁あり、居室誘導後2人介助でベッド移乗後下衣類を下げるとバルーンカテーテル抜け出ているのを発見した	看護師報告し、その後主治医連絡し、Dr往診にてバルーンカテーテル挿入する。その後、様子観察し、特に異常なし。家族にも報告する
3	3月4日	女	バルーンカテーテル抜去	居室	採尿時、下衣類を交換している最中にカテーテルが抜去状態になっているのを発見する	看護師報告し、その後主治医連絡し、Dr往診にてバルーンカテーテル挿入する。その後、様子観察し、特に異常なし。家族にも報告する

事故発生状況　2020　介護老人福祉施設 なかやま幸梅園

発生場所＼発生内容	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無	10	1	3			7	1				1	23
居室	有											2	2
	無	7		3						2		2	14
食堂	有												
	無												
トイレ	有											1	1
	無	2										1	3
浴室	有												
	無		1										1
デイルーム（娯楽室）	有												
	無												
施設外	有												
	無								1				1
その他	有												
	無	2										1	3
小計	有											3	3
	無	21	2	6			7	1	1	2		5	45
合計		21	2	6			7	1	1	2		8	48

（評価）

発生状況としては同一入居者による軽微な転倒、ずり落ち等の事故が多くを占めるが、昨年度と同様に、集中してバルーンカテーテル抜去事故が発生しており、看護師と協議して、ケアの手順や安全確認等、適切な取り扱い方法や安全確認等、再発防止に関する体制強化に取り組む。

また、誤薬事故については排泄状況の伝達不足により緩下剤を服用した事故が3件、経管栄養対象者3名に対し、朝食後に夕食後薬を提供した事例及び、主治医から処方内容の変更（2錠⇒1錠）指示に対して、変更前の錠数を服用したケースがあった。いずれも体調異常等は無かったが、重大インシデントとして、多職種で検証を行い、再発防止に繋げている。

ヒヤリハット　件数　26件

12.苦情発生の状況

苦情発生　なし

指定短期入所生活介護事業所　なかやま幸梅園

【重点目標】

① 利用者一人ひとりが安心して在宅生活が継続できるよう、引き続き家族、居宅介護支援事業所、各関係機関及び、他のサービス事業所等との連携強化を図る。

② 複数のサービス事業所を利用する利用者の増加に伴い、心身状態や介護方法等の情報を共有し、利用者、家族の希望に沿ったサービス提供に繋げる。

③ 医療依存度の高い利用者や、終末期、感染症の流行時季での緊急的な受け入れ等、介護ニーズの多様化に応じて、医療機関や各関係機関と連携しながら、柔軟かつ、円滑な受け入れ及び、適切なサービス提供体制の構築を図る。

④ 今後予想される各種大規模災害の発生に備えて、引き続き避難訓練の実施や地域防災組織等と連携し、施設の防災、減災力等の機能強化、充実を図ることにより、地域高齢者の安全と生活の確保に向けて更なる体制整備に取り組む。

【総合評価】

達成度(%)　90%

＜評価＞

① 90%

家族、居宅介護支援事業所、及び他のサービス事業所等、各関係機関と連携しながら概ね適切にサービスを提供できた。

② 80%

関係サービス事業所等と身体状況及び､介護方法等についての情報を共有しながら利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供した。

③ 95%

主治医及び担当ケアマネージャーらと連携し､家族の意向も踏まえつつ医療依存度の高い利用者や、ターミナル期での受け入れを行った。

④ 95%

台風接近など警報発令段階で担当ケアマネージャー及び、行政と相談しながら、山間地区や河川近くに居住する独居や高齢者夫婦世帯等､要援護高齢者の緊急的な受け入れを行った。

指定短期入所生活介護（介護予防）事業所　なかやま幸梅園

【重点目標】

① 利用者一人ひとりが安心して在宅での生活が継続できるよう、引き続き、家族、居宅介護支援事業所、伊予市包括支援センター、各関係機関、サービス事業所等との連携強化を図る。

② 要介護状態にならないよう、自立支援（介護予防）に重点を置き、利用者の状態を踏まえつつ、利用者及び、家族の希望に沿ったサービス提供を行う。

③ 家族の都合等、緊急的な利用希望に対して、柔軟で円滑な受け入れを行うと共に、適切なサービス提供を行う。

④ 今後予想される各種大規模災害の発生に備えて、引き続き避難訓練の実施や地域防災組織等と連携し、施設の防災、減災力等の機能強化、充実を図ることにより、地域高齢者の安全と生活の確保に向けて更なる体制整備に取り組む。

【総合評価】

達成度(%)　90%

＜評価＞

① 90%

家族、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所及び他のサービス事業所等と連携しながら概ね適切にサービスを提供できた。

② 80%

利用者に対して日常生活動作を中心に安全等に十分配慮しながら歩行リハビリや口腔体操に加え、レク活動など意欲や活動性の向上に繋がる支援を行った。

③ 90%

家族の都合等、緊急的な利用希望に応じてサービス提供を行った。

④ 95%

台風接近など警報発令段階で担当ケアマネージャー及び、行政と相談しながら、山間地区や河川近くに居住する独居や高齢者夫婦世帯等、要援護高齢者の緊急的な受け入れを行った。

令和2年度　　**指定短期入所生活介護事業所 なかやま幸梅園 利用実績**

１．事業内容　区分：短期入所生活介護〔併設型〕
体制：送迎体制〔あり〕

２．開所日数　：　365日

■ 利用定員　：　10名

■ 稼働率　：　95.9%

■ サービス期間　：　令和2年4月1日～令和3年3月31日

３．利用実績

項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用者数		27	23	28	27	25	26	27	25	27	24	21	22	302
介護度別利用状況	要支援1				3	3	3							9
	要支援2					3		3		4	3	8	3	24
	要介護1	50	41	35	43	37	39	38	42	47	48	40	38	498
	要介護2	136	144	154	79	103	67	86	101	86	75	69	77	1,177
	要介護3	61	59	66	114	103	90	92	85	67	71	53	53	914
	要介護4	41	45	37	50	59	61	65	64	94	70	60	71	717
	要介護5	11	7	4	10		29	22	4	4	21	23	26	161
	合　計	299	296	296	299	308	289	306	296	302	288	253	268	3,500
	1日平均	10.0	9.5	9.9	9.6	9.9	9.6	9.9	9.9	9.7	9.3	9.0	8.6	9.6
送迎利用実績		75	69	80	66	75	67	76	74	74	56	54	72	838

4.事故状況　（医療機関受診を伴う事故）

※ 受診を伴う事故発生なし

事故発生状況　　2020　　短期入所生活介護事業所 なかやま幸梅園

発生場所＼発生内容	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無	3											3
居 室	有												
	無	1								1			2
食 堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無												
浴 室	有												
	無												
デイルーム（娯楽室）	有												
	無												
施設外	有												
	無								2				2
その他	有												
	無	1										1	2
小 計	有												
	無	5						2	2	1		1	11
合 計		5						2	2	1		1	11

(評価)

発生状況としては転倒が5件、離園及び異食が各2件、表皮剥離及び薬関係が各1件づつの発生となっている。

件数としては大幅に減少しており、服薬管理に絡むケースは多職種で再発防止の検討を行った。離園事故は時季及び、時間帯によっては極めて重大な事故に発展する可能性が高いことから、今後も安否確認の方法等、全体として連携強化を図る必要がある。

ヒヤリハット件数　9件

5.苦情発生の状況

苦情発生　なし

ケアハウス　なかやま幸梅園

【重点目標】

① 障がいがあっても社会資源等を活用しながら、安心して自立生活が継続できるよう支援する。
② 確実に服薬できるよう、個々の状態に応じた支援を行う。
③ 入居者との面談を適宜実施し、個々の課題及びニーズの把握に努めると共に、ケアプランに沿った支援計画を作成し、その人らしい生活が継続できるよう支援する。
④ 入居者の希望や生活歴等を確認し、過去に訪れた地域及び、関わりの深い場所への外出活動を計画し実施する。
⑤ クラブ活動では、個々に応じた活動を提供し、入居者同士がお互いを認め合う関係性の構築に努め、親睦が深まるよう支援する。
⑥ ケアハウスで育苗した花苗を提供し、地域住民と共同で植え付けを行い、地域の環境美化に貢献する。
⑦ ケアハウス入居待機者にも定期的に連絡を行い、入居希望、状態の把握に努め迅速な入居に繋げる。
⑧ 災害時の対応方法、避難方法等、定期的に入居者と話し合いを行い、防災意識の向上を図る。

【総合評価】

達成度(%)　80%

＜評価＞

① 85%

各種社会資源を有効活用することでケアハウスでの自立生活に繋げたが､不安を抱えながら生活する状況も見受けられた。今後は､疾病等に関する不安の軽減にも努める必要がある。

② 85%

個々の状態及び､状況に応じた服薬支援を行うことで確実な服薬に繋がっている。しかし、誤薬事故（服薬提供忘れ）が 2 件発生したため、服薬管理の方法等については更なる検討が必要である。

③ 70%

適宜、入居者と面談等を行い、個々の要望に沿った支援計画の作成、実施に努めたが、コロナ禍の影響による自粛等もあり、十分な支援には至らなかった。

④ 70%

コロナ禍の影響による自粛のため、外出行事の実施には至らなかった。しかし、

関わりが深い地域の話題提供や画像を閲覧することで、日常生活の意欲回復、向上に繋げた。

⑤ 100%

個々が得意な作業を分担して一つの作品を創作することで、皆で創作することの喜びを分かち合えた。

⑥ 40%

コロナ禍の影響により、地域住民との共同作業には至らなかった。令和3年度も共同作業は困難であると思われるため、関係者に花苗を提供し環境美化に取り組む予定である。

⑦ 85%

入居待機者に定期的な連絡を行い、待機者の状況、入居時期等の把握に努めた結果、月初めにはほぼ満床を保つことができた。しかし、待機者の状態や家族の要望等の相違により、スムーズな入居には繋がらないなどの課題も残っている。

⑧ 100%

施設が計画、実施する避難訓練には積極的に参加し、防災頭巾の着用意識も向上している。また、防災に関するビデオ等も鑑賞することで、更なる防災意識の向上に繋がっている。

令和2年度　　ケアハウス　なかやま幸梅園

１．入居者状況（R3.3.31）

・定員　１５名　　《一人部屋　１３室　　二人部屋　１室》

・出身地状況　　（単位：人）

出身地	男性	女性	合計
中山町	3	9	12
双海町	2		2
大洲市	1		1
合計	6	9	15

・年齢構成　　（単位：人）

年齢層	男性	女性	合計
61歳～70歳	1		1
71歳～80歳	1	2	3
81歳～90歳	4	2	6
91歳～100歳		5	5
合計	6	9	15

・平均年齢

全体	85.4歳
男性	79.3歳
女性	89.4歳

最高年齢 98歳　7ヶ月
最低年齢 64歳　5ヶ月

・在所期間状況　　（単位：人）

期間	男性	女性	合計
１年未満	2	3	5
１年以上～２年未満	1		1
２年以上～３年未満			
３年以上～４年未満		1	1
４年以上～５年未満			
５年以上～６年未満	2	2	4
６年以上～７年未満		2	2
７年以上～８年未満	1		1
８年以上～９年未満			
９年以上～10年未満		1	1
合計	6	9	15

・月別入居率状況　　（単位：人）

月	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２	１	２	３	平均利用者数
28年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15.0
29年度	14	14	14	15	15	14	15	15	15	15	15	15	14.7
30年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15.0
令和1年度	15	15	15	15	15	15	15	14	15	15	15	14	14.8
令和2年度	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14.9

・入居者　　5 名　　年齢は入居時によるもの

性　別	年　齢	出　身　地	入居年月日
男　性	86 歳	伊予市中山町	令和2年4月27日
女　性	79 歳		
女　性	86 歳	伊予市中山町	令和2年6月25日
女　性	76 歳	伊予市中山町	令和2年9月29日
男　性	84 歳	伊予市双海町	令和3年3月30日

・退居者　　4 名　　年齢は退居時によるもの

性　別	年　齢	年　月　日	入居期間	理　　由
女　性	91 歳	令和2年4月2日	1年3ヶ月	他施設入居
女　性	86 歳	令和2年6月1日	2年8ヶ月	他施設入居
女　性	86 歳	令和2年9月22日	10ヶ月	入院の継続
女　性	93 歳	令和3年3月6日	9年6ヶ月	他施設入居

２．要介護度状況　　令和3年3月31日

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	合計
28年度	1	2	3	7		1		14
29年度	1	3	3	7				14
30年度	1	4	1	7	2			15
令和1年度	2	2	1	7	2			14
令和2年度	2	3	3	5	2			15

３．在宅福祉サービス利用状況　　訪問介護、リハビリは3月31日の利用者数
通所介護、短期入所は利用実績

利用種別	訪問介護	訪問リハビリ	通所介護	短期入所
28年度	13名	1名	384日	9日
29年度	12名	1名	648日	5日
30年度	14名		719日	18日
令和1年度	12名	1名	726日	89日
令和2年度	13名		687日	5日

４．受診状況　　（医療機関受診回数）

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	合計
28年度人数	20	21	24	25	27	29	30	25	26	23	24	24	298
29年度人数	22	23	28	26	26	24	28	23	28	16	17	18	279
30年度人数	20	23	18	15	23	22	29	22	22	25	16	21	256
令和1年度人数	22	17	27	17	18	18	22	22	24	17	15	23	242
令和2年度人数	17	15	23	31	30	15	31	22	25	14	24	33	280

５．入退院状況

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	合計
28年度人数												1	1
入院日数												10	10日
29年度人数	1					1					1	1	4
入院日数	12					10					13	23	58日
30年度人数					1	2	2	1	1			1	7
入院日数					2	43	34	30	13			4	126日
令和1年度人数	1	1	1	1	1			2	1				8
入院日数	11	6	26	9	10			4	4				70日
令和2年度人数		1	1	2	2	1	1	1					9
入院日数		8	6	33	33	22	26	9					137日

・個人別入院状況

性別	年齢	入院期間	入院日数	病名	入院先
女性	94	令和2年 5.22～2.5.29	8日	胆管炎	松山赤十字病院
女性	85	令和2年 6.25～2.9.22	90日	腰部圧迫骨折	伊予病院
男性	73	令和2年 7.30～2.8.2	4日	鼠経ヘルニア	県立中央病院
女性	96	令和2年10.6～2.11.9	35日	急性腎盂腎炎	奥島病院

６．事故状況　（医療機関受診を伴う事故）

No.	月　日	性別	事故内容	場所	事故状況	対応・処置等
1	6月17日	女性	転倒	居室	ポータブルトイレより立ち上がろうとして転倒	湿布貼付し様子観察

事故発生状況　　2020　　ケアハウス なかやま幸梅園

発生内容／発生場所	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												0
	無												0
居　室	有	1											1
	無	1					1						2
食　堂	有												0
	無						1						1
トイレ	有												0
	無												0
浴　室	有												0
	無												0
デイルーム（娯楽室）	有												0
	無												0
施設外	有												0
	無												0
その他	有												0
	無	3											3
小　計	有	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	無	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6
合　計		5	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	7

（評価）
受診を伴う大きな事故は減少傾向であるが、誤薬事故（服薬提供忘れ）が2件生じた。
今後は服薬管理に関するルールを遵守し、再発防止に努める必要性がある。

ヒヤリハット件数：11件

７．苦情発生の状況

苦情発生なし

８．月別外泊状況

月	4	5	6	7	8	9	１０	１１	１２	1	2	3	合計
H28.人数	1	2	2	3	3	2	2	1	2	2		1	21
日 数	1	2	4	8	13	2	2	1	6	6		13	58日
H29.人数	2			1	3	1		1	3	2	3	1	17
日 数	14			1	11	10		3	3	5	15	22	84日
H30.人数		1			1	4	2	1	4	1	2	2	18
日 数		1			2	46	34	30	21	3	3	5	145日
R1.人数	3	2	2	3	3	2	3	2	4	4	2		30
日 数	17	27	60	58	43	36	21	12	35	19	22		350日
R2.人数	1	1	1	2	2	1	1	1		1	1	1	13人
日 数	1	8	6	33	33	21	25	8		5	28	5	173日

９.クラブ活動

曜日	クラブ活動名	ボランティア名	平均参加人数
日	ビデオ観賞	職員にて	13名
月	調　理	職員にて	12名
火	生け花	職員にて	8名
	レクリエーション	職員にて	11名
水	買い物	職員にて	4名
	手 芸	職員にて	10名
木	ひまわりクラブ	職員にて	13名
金	健康チェック	職員にて	14名
土	喫　茶	職員にて	8名

１０．年間行事及び交流会

月	行　　事　　名
4	お花見会
5	母の日会
6	風水害避難訓練・父の日会・焼肉パーティー
7	防災訓練
8	幸梅園夏祭り・合同慰霊祭
9	敬老会
10	餅つき・地方祭・入居者健康診断
11	文化祭・亥の子
12	防災訓練・忘年会・クリスマス会・餅つき、しめ縄作り
1	歳旦祭・新年会

指定通所介護事業所　なかやま幸梅園

【重点目標】

① 接遇に関する目標を定め、定期的に評価・検討を行い、利用者個々の立場に立った対応を心掛ける。また、事業所独自の勉強会や、各種研修会へ積極的に参加することにより、職員個々の知識及び技術の向上と共有を図り、利用者が安心してサービスを利用できるよう質の向上に努める。

② 季節に応じた外出行事、調理レクリエーションを計画的に実施する。また、手芸や工作等の個別のレクリエーションの充実を図り、出来上がった作品を文化祭に出展することで、一年を通して利用者が楽しみ・目標を持ってサービスが利用できるよう努める。

③ 利用者の重度化、介護ニーズの多様化に対応するため、サービス内容について検討し、個々に合ったケアができるよう努める。

④ 自立した生活を営むことができるよう必要に応じた機能訓練を実施する。

⑤ ミニデイサービスや地域の行事に参加することにより、地域特有の様々なニーズを把握し、認知症高齢者が住み慣れた地域で在宅生活が継続できるように努める。また、関係機関との連携を密に図り、統一した個別援助の実施に繋げる。

【総合評価】

達成度(%)　70%

＜評価＞

① 70%

職員主体の勉強会を開催し、利用者個々の立場に立った介護に繋げた、しかし、評価・検討が行えなかったため、次年度には定期的に評価・再検討をし、さらなる介護技術・接遇マナーの向上が必要である。

② 70%

コロナウイルスの影響により外出行事の実施はできなかったが、季節に応じたおやつ作りや、園内でのお花見を実施するなど、利用者が楽しめる工夫をした。また、将棋や囲碁など、個別で楽しめるレクリエーションの提供も行えた。

③ 70%

関係機関と連携を取り合いながら、医療依存度の高い利用者等、細かなニーズに対応出来るよう努め、新規の利用に繋げた。

④ 80%

平行棒リハビリや口腔体操、また、利用者からの希望により園内を散歩する時間を作ることで、筋力の低下予防に努めた。また、体操や歩行時に身体の動かし方

のアドバイスや、自宅でもできる体操を伝える等して転倒防止に努めた。しかし、歩行困難や体力に不安のある利用者の運動支援が少ないため、より柔軟なリハビリメニューの検討が必要である。

⑤　60%

ミニデイサービスなど地域行事の開催が無く、参加する機会がなかったが、送迎時や担当者会議時等を利用して地域のニーズ把握に努めた。また、独居の利用者や老老介護の利用者も増えており関係機関と連携を図ることで、家族と離れていても安心して生活ができるように努めた。

※その他

利用状況について 12 月中旬～3 月にかけて入院、他界が多くあったため、利用者数減となった。その対象者は特に、週の利用回数が多かった重度者、独居者、転倒リスクが高い者、体調不良者など 16 人であった。

例年 12 月から伊予ヶ丘等へ行く利用者が多かったが、今年度については若干減少傾向となった。しかしコロナ禍により戻ることにも影響した。

多くは、法人内のショートサービス利用に切り替わったのが実態であった。

指定通所介護（介護予防）事業所　なかやま幸梅園

【重点目標】

① 接遇に関する目標を定め、定期的に評価・検討を行い、利用者個々の立場に立った対応を心掛ける。また、事業所独自の勉強会や、各種研修会へ積極的に参加することにより、職員個々の知識及び技術の向上と共有を図り、利用者が安心してサービスを利用できるよう質の向上に努める。

② サービス提供に関して、家族や利用者個々のニーズに対し柔軟な対応ができるよう努める。

③ 季節に応じた外出行事、調理レクリエーションを計画的に実施する。また、手芸や工作等の個別のレクリエーションの充実を図り、出来上がった作品を文化祭に出展することで、一年を通して利用者が楽しみ・目標を持ってサービスが利用できるよう努める。

④ ミニデイサービスや地域の行事に参加することにより、地域特有の様々なニーズを把握し、認知症高齢者が住み慣れた地域で在宅生活が継続できるように努める。また、関係機関との連携を密に図り、統一した個別援助の実施につなげる。

【総合評価】

達成度(%)　70%

＜評価＞

① 70%

職員主体の勉強会を開催し、利用者個々の立場に立った介護に繋げた。しかし、評価・検討が行えなかったため、次年度には定期的に評価・再検討をし、さらなる介護技術・接遇マナーの向上が必要である。

② 80%

関係機関と連携をし、個々のニーズにあわせて柔軟な対応を行うことにより、新規の利用に繋げた。

③ 70%

コロナウイルスの影響により外出行事の実施はできなかったが、季節に応じたおやつ作りや、園内でのお花見を実施するなど、利用者が楽しめる工夫をした。しかし、年間継続して続けられる作品作りに関しては、あまり取り組めなかったため、今後の課題にしたい。

④ 60%

ミニデイサービスなど地域行事の開催が無く、参加する機会がなかったが、送迎時や担当者会議時等を利用して地域のニーズ把握に努めた。また、独居の利用者

や老老介護の利用者も増えており関係機関と連携を図ることで、特変時の早期の受診に繋げ、家族と離れていても安心して生活ができるように努めた。

令和2年度

指定通所介護事業所 なかやま幸梅園

1．事業内容　　区分：通所介護〔併設型〕利用定員 30名
体制：入浴介助体制〔あり〕

2．開所日数　　：　313　日　　(稼働率 79%)

3．利用実績

（単位：人）

項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
実利用人数		69	70	72	76	73	74	75	72	75	66	65	68	855
介護度別利用者数	要支援1･2	110	104	117	128	111	117	119	117	117	94	105	131	1,370
	要介護1	285	280	292	281	294	289	288	255	295	257	249	240	3,305
	要介護2	140	175	179	194	172	176	178	149	145	119	103	123	1,853
	要介護3	75	74	55	63	50	72	62	66	70	49	49	57	742
	要介護4									7	6	5	8	26
	要介護5	13	12	13	13	13	17	13	7					101
	合　計	623	645	656	679	640	671	660	594	634	525	511	559	7,397
1日平均		23.9	24.8	25.2	25.1	24.6	25.8	24.4	23.7	23.4	20.1	21.3	20.7	23.6
開所日数		26	26	26	27	26	26	27	25	27	26	24	27	313
延べ入浴者数		515	522	518	529	507	537	523	468	515	435	442	480	5,991
平均入浴者数		19.8	20.0	19.9	19.6	19.5	20.6	19.3	18.7	19.0	16.7	18.4	17.7	19.1

（単位：人）

4．要介護度別利用者状況

介護度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
要支援	18	16	17	18	18	18	18	18	20	18	19	21	219
要介護1	29	31	32	33	32	31	32	31	33	29	28	27	368
要介護2	14	15	16	17	16	15	16	15	14	13	11	13	175
要介護3	7	7	6	7	6	7	7	7	7	5	6	6	78
要介護4									1	1	1	1	4
要介護5	1	1	1	1	1	3	2	1					11
合　計	69	70	72	76	73	74	75	72	75	66	65	68	855
平均介護度	1.33	1.36	1.33	1.34	1.32	1.43	1.39	1.33	1.28	1.26	1.25	1.26	1.32
要支援割合	26%	23%	24%	24%	25%	23%	23%	25%	27%	27%	29%	31%	25%

５．介護度別利用者年齢構成

2021年3月31日現在

介護度	要支援		要介護１		要介護２		要介護３		要介護４		要介護５		合計
性別 / 年齢階層	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
64歳以下													
65歳～69歳	1									1			2
70歳～79歳	1			1	2								4
80歳～89歳	3	11	10	2	2	6	3	1					38
90歳以上	1	4	4	10	1	2	1	1					24
総計	21		27		13		6		1				68

６．年間利用状況推移

月 / 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	587	604	618	674	685	631	648	623	641	623	598	655	7,587
平成29年度	670	713	666	645	669	719	710	680	643	571	548	679	7,913
平成30年度	645	665	658	669	687	630	725	672	633	590	580	626	7,780
令和1年度	606	611	584	642	636	627	715	634	604	599	587	582	7,427
令和2年度	623	645	656	679	640	671	660	594	634	525	511	559	7,397

７.事故発生の状況　　（医療機関受診を伴う事故）

No.	月　日	性別	事故内容	発生場所	事故状況	対応・処置内容等
1	6月8日	男	誤嚥	ﾃﾞｲﾙｰﾑ	2割ほど食事を摂取した後ムセ込みあり食物残渣物少量嘔吐、粘調だ液流出した	胸部レントゲン、抗生剤5日分処方 発熱あれば再診の指示
2	10月20日	女	火傷	ﾃﾞｲﾙｰﾑ	ホットボンドが手に付着し火傷	軟膏塗布と消毒、ガーゼ保護

事故発生状況　　2020　　通所介護事業所 なかやま幸梅園

発生場所＼発生内容	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無	1										1	2
居　室	有												
	無												
食　堂	有												
	無						1					1	2
トイレ	有												
	無												
浴　室	有												
	無			1	1								2
デイルーム（娯楽室）	有					1						1	2
	無	1		2									3
施設外	有												
	無	1										1	2
その他	有												
	無	1											1
小　計	有					1						1	2
	無	4		3	1		1					3	12
合　計		4		3	1	1	1					4	14

（評価）
服薬関係の事故は1件に減少しているも、ずり落ち・転倒の事故が合わせて7件と増加した。
うち、ずり落ち事故の3件は同一人物であり、検討内容の見直しが必要である

ヒヤリハット件数　38件

８.苦情発生の状況

苦情発生なし

総合福祉施設　なかやま幸梅園　厨房

【重点目標】

① 行事食・イベント食を計画的に実施し充実を図る。
② 食事委員会との連携強化を図りながら厨房会を定期的に開催し、厨房スタッフ全員の意識統一を図る。
③ 多職種間で連携を深め、利用者個々の栄養計画書の定期的評価・見直しを行い、体調管理の維持・向上に繋げる。
④ 非常時、緊急時対応マニュアルの見直しを行い、イメージトレーニングと訓練を実施する。
⑤ 自然災害時に備え、利用者・職員を含む非常食のメニューに沿った備蓄品を確保する。消費期限をチェックし、在庫管理を行う。
⑥ 研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を高める。

【総合評価】

達成度(%)　90.8　%

＜評価＞

① 85%

コロナ禍で、施設全体での行事が実施できなかったため、各事業所それぞれに検討・連携しながら提供を行った。

② 85%

食事委員会と連携しながら嗜好調査を行うことで、利用者意見を取り入れた食事の提供が概ねできた。

③ 85%

利用者個々の栄養ケア計画の定期的評価・見直しが概ね実施できた。

④ 100%

施設全体の避難訓練に参加することができた。

⑤ 100%

賞味期限をチェックし、令和 2 年度内の備蓄食品を期限内に提供し、補充できた。

⑥ 90%

感染対策のためのオンライン研修、勉強会に参加し、専門的な知識を高めた。

指定居宅介護支援事業所　なかやま幸梅園

【重点目標】

① 適正なプラン作成のために、利用者・家族・関係機関と情報を共有し良好な関係を作る。

② 利用者の状態が把握できるように、状況変化に合わせてアセスメントを作成し、評価や記録を適宜行う。

③ 提出が必要な書類や包括支援センターへの返却書類等は期限を守って提出する。

【総合評価】

達成度(%)　85%

＜評価＞

① 90%

毎月の訪問や事業所からのモニタリングを参考にしながら、適切なケアプランを作成した。

新規プランに対しては、行政の介護保険事業適正化に係るケアプラン点検を受け、指摘があった部分は再検討した。

② 85%

状況が変わった時には、その都度サービス担当者会議を開催し、ケアプランを見直した。

在宅生活が困難になった利用者には施設入居への対応をスムーズに行った。

③ 80%

行政への提出物は問題なくできたが、包括支援センターへの評価の提出や終了後の返却の遅れは若干見られた。

1　サービス計画数

（要支援1・要支援2は伊予市包括支援センターからの委託を受けて実施）　（単位：人）

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	56	57	56	58	58	60	63	63	62	60	61	60	**714**
要介護2	35	38	37	39	35	34	36	35	36	35	29	32	**421**
要介護3	23	24	26	23	22	24	23	22	21	18	17	15	**258**
要介護4	9	9	10	10	12	12	13	13	13	12	12	13	**138**
要介護5	4	5	5	5	3	5	5	3	3	4	4	4	**50**
要介護　計	**127**	**133**	**134**	**135**	**130**	**135**	**140**	**136**	**135**	**129**	**123**	**124**	**1,581**
要支援1・2	42	42	45	45	45	45	46	42	44	45	46	48	**535**
介護+支援の数	169	175	179	180	175	180	186	178	179	174	169	172	**2,116**
介護+支援1/2の数	**127**	**130**	**135**	**135**	**133**	**135**	**139**	**131**	**134**	**132**	**131**	**134**	**1,849**

＜サービス計画数　5年間の動き＞　（要支援は二人で一人として計算・ケアマネ1人35人上限）

（事業対象者はR1で終了した）

	28年	29年	30年	R1年	R2年
計画数	1,817 (2,056)	1,810 (1,997)+21	1,820 (2,066)+24	1,728 (1,980)+24	1849 (2,116)
要介護数	1,578	1,623	1,573	1,476	1,581
要支援数	478	374	493	504	535
ケアマネ数	4.8	5	5	5	5
1人の持ち人数	31.5 (35.7)	30.2 (33.3)	30.3 (34.4)	28.8 (33)	30.8 (35.3)
（事業対象者入り）		33.6	34.8	33.4	

2　契約開始と契約終了の状況

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護、新規契約		4	6	6	3	1	5	5	4	7	1	2	4	**48**
予防、新規委託		4	2	1	2	1	1	1	1	3	2	2	2	**22**
契約終了	永眠	0	2	1	3	0	1	2	1	3	0	2	1	**16**
	施設入所	2	0	1	1	1	1	3	0	1	2	0	2	**14**
	その他	1	0	1	3	0	1	0	1	1	0	2	4	**14**

3　加算対応件数

（単位：人）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防初回加算	3	1	3	1	1	0	3	1	1	4	2	2	**22**
介護初回加算	4	3	4	4	2	1	5	6	5	2	4	5	**45**
入院連携加算	1	1	6	1	0	3	4	2	1	8	2	3	**32**
退院退所加算	3	1	2	2	0	2	0	2	0	0	0	0	**12**
合計	**11**	**6**	**15**	**8**	**3**	**6**	**12**	**11**	**7**	**14**	**8**	**10**	**111**

4　介護保険代行申請数

（単位:人）

種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	6	2	3	4	0	4	2	3	8	0	2	3	**37**
介護保険更新	9	5	3	3	4	4	7	5	3	6	3	6	**58**
介護予防更新	2	2	2	1	5	3	1	4	2	2	3	1	**28**
区分変更	3	4	2	2	6	4	0	2	4	1	2	3	**33**
合計	**20**	**13**	**10**	**10**	**15**	**15**	**10**	**14**	**17**	**9**	**10**	**13**	**156**

5　事業所への提供依頼状況

（単位:人）

サービス種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	41	45	43	41	41	44	46	41	42	41	39	40	**504**
訪問看護	17	19	17	18	17	18	18	19	18	18	19	19	**217**
通所介護	53	55	56	57	56	57	58	55	54	48	48	49	**646**
通所リハビリ	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	**9**
地域密着通所介護	56	58	57	53	53	56	56	51	52	50	46	45	**633**
短期入所生活介護	40	37	41	40	34	37	42	36	38	34	31	35	**445**
認知症短期入所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	**2**
福祉用具貸与	70	73	76	72	68	72	75	71	71	67	66	68	**849**
居宅療養管理指導	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	**8**
介護予防訪問介護	11	12	14	14	14	14	15	14	15	15	15	16	**169**
介護予防訪問看護	6	4	5	5	4	6	6	6	6	7	8	8	**71**
介護予防通所介護	25	25	26	27	26	25	25	24	25	23	24	26	**301**
予防通所リハビリ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	**12**
予防短期入所生活介護	0	0	0	0	1	0	2	0	1	1	2	1	**8**
介護予防福祉用具貸与	14	16	16	17	18	20	19	17	18	18	18	19	**210**

6　サービス担当者会議開催数

（単位:回）

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	30	37	40	30	39	28	35	40	33	23	28	35	**398**

7　主治医への照会依頼（医療系サービスや軽度者の福祉用具レンタルに関する意見の照会等）

（単位:件）

提出月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬情請求	24	26	23	21	26	22	21	23	22	18	22	21	**269**
照会	2	6	2	1	1	4	2	4	4	0	2	0	**28**

8　行政への介護保険事業適正化に係るケアプラン点検

（単位:回）

提出月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
提出プラン数	8	9	5	7	3	4	1	14	3	2	11	8	**75**

９　福祉用具購入費の支給申請

No.	申請月	対象者		福祉用具名
1	4	支2	女	ポータブルトイレ
2	4	介3	女	ｼｬﾜｰ椅子
3	6	介4	男	ｼｬﾜｰｷｬﾘｰ
4	6	介2	男	浴槽台・ｼｬﾜｰ椅子
5	7	介1	男	浴槽台・ｼｬﾜｰ椅子
6	8	支2	男	ｼｬﾜｰ椅子
7	9	介3	男	ｼｬﾜｰ椅子
8	10	介4	女	ポータブルトイレ・ｼｬﾜｰ椅子
9	12	介1	女	ポータブルトイレ
10	R3・2	介3	女	ｼｬﾜｰ椅子・ポータブルトイレ

１０　住宅改修費の支給申請

No.	申請月	対象者		改修内容
1	4	支2	女	手すり(玄関・トイレ)
2	4	介3	女	手すり(玄関・トイレ)
3	5	支2	女	手すり(屋外階段・トイレ)
4	6	介1	女	手すり(廊下)・段差解消
5	8	支2	男	手すり(浴室・廊下・茶の間・土間)
6	9	介1	男	手すり(トイレ)
7	9	介3	男	手すり(トイレ・廊下)
8	R3・1	支1	女	手すり(トイレ・廊下・風呂・玄関・屋外)
9	2	介3	男	手すり(居室・廊下)
10	3	介1	女	手すり(屋外)
11	3	介3	男	手すり(屋外)

＜福祉用具購入 5年間の動き＞

年度	28年	29年	30年	R1年	R2年
件数	6	14	17	16	**10**

＜住宅改修 5年間の動き＞

年度	28年	29年	30年	R1年	R2年
件数	12	19	17	16	**11**

１１　居宅会議開催数

（単位:回）

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	**60**

１２　研修会等への参加

月/日	内容	参加者	場所等
7/2	他法人居宅との勉強会(伊予診療所・伊予市社協)	滝下・武田・木戸・正岡・横山	伊予市役所ラウンジ
8/13	認知症予防の大切さ	木戸・武田	いよ未来館
8/20	伊予市地域ケア個別会議(助言者として)	滝下	伊予市役所4F
9/12	コロナ感染予防と対応策	正岡	愛大医学部講堂
9/25	自殺対策に関する研修会	横山・武田	伊予市保健センター
10/5	アンガーマネジメント	武田	ウエルピア伊予
8～10月	介護支援専門員更新研修(37時間)eﾗｰﾆﾝｸﾞ含む	木戸	愛媛県総合社会福祉会館
10/22	介護予防従事者研修会	正岡	松山地方局
10/22	認知症の人が、私たちを繋ぎ、地域を支える	滝下	さざなみ館
10～12月	主任介護支援専門員研修(70時間)eﾗｰﾆﾝｸﾞ含む	武田	愛媛県総合社会福祉会館
11/6	他法人居宅との勉強会(伊予診療所・伊予市社協)	滝下・武田・木戸・正岡・横山	伊予市社協2F
11/14	どーんと来い。8050	滝下	さざなみ館
11/16	難病地域ケア研修会	正岡	愛媛県中予地方局6F
11/19	伊予市地域ケア個別会議(助言者として)	滝下	伊予市役所4F
11/28	今から実践する認知症予防と若年性認知症について	木戸・横山	伊予市役所4F
12/5	介護塾in愛媛　どこでケアする？してもらう？	正岡・横山	子規記念博物館4F
3/4	ふれあいフォーラム「楽しい老い方講座」	滝下・木戸	中山公民館
3/5	他法人居宅との勉強会(伊予診療所・伊予市社協)	滝下・武田・木戸(人数制限あり)	伊予診療所きらら館
3/18	伊予市地域ケア個別会議(事例提供者として)	正岡	伊予市役所2F

１３　その他代行申請

社会福祉協議会ｵﾑﾂ申請(介護4以上、寝たきりか重度認知症で尿便意のない人)⇒ 新規申請数 1件

在宅介護支援センター　なかやま幸梅園

【重点目標】

① 指定管理については、４月以降の公募に合わせ、応募から施設管理まで円滑に行えるよう情報収集や関係機関との協議を行う。

② がんばる会については､環境変化に伴う利用者の不安､負担の軽減に努めると共に、運営が円滑に行えるよう情報共有や検討会等を行う。

③ 健康調査について、対象者の定期的なフォローアップを行うと共に、必要に応じて認知症相談や予防教室、介護サービス等に繋げていく。

④ 誰でも気軽に参加できる「通い」や「交流」の場づくりに向けて地域住民との連携を図る。

【総合評価】

達成度(%)　80%

＜評価＞

① 85%

指定を受け、9 月の開所から施設管理を行っている。新型コロナウイルスの影響もあり集会室の利用は下半期で 20 回、延べ 191 人であった。予防事業は 28 回、延べ 203 人が参加した。

② 85%

場所を 4 月から幸梅園へ、9 月からは中山コミュニティーセンターへ移動し実施した。事前に説明・準備することで利用者の負担軽減に繋がった。今後は新型コロナウイルスの動向等によっては会場が使用できないため､実施場所の変更など対応に取り組む必要がある。

③ 85%

認知症相談や予防教室を通してフォローアップを行った｡健康調査については最終年度であったが､新型コロナウイルスの影響により追跡調査は実施されなかった。令和 4 年度以降へ持ち越しとなった。

④ 70%

協議体や予防事業の参加者から意見を得たが、具体的な活動には至っていない。

１．地域ケア会議実績

目　的　　保健・医療・福祉・行政関係者が集まり、中山町における要援護者の抱える問題解決に向けた情報交換等を行う場として月に一度開催する。

開催日　　毎月第1木曜日　13時30分～

開催場所　　なかやま幸梅園 会議室等

出席者　　保健・医療・福祉などの現場職員を中心に15名程度

医師・訪問看護師、歯科医師・歯科衛生士、保健センター職員・保健師、社協専門員・居宅介護支援事業所、各居宅サービス事業所、施設相談員、地域包括支援センター、在宅介護支援センター

実施回数　　年間7回（新型コロナウイルス感染予防のため中止した月は、資料配布による情報交換にて対応

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月別参加者数	中止	中止	中止	14	中止	13	13	13	14	中止	13	16	96

２．　一般介護予防

目　的　　介護予防の基本的な知識を普及啓発するため、各種教室や相談などの実施、サロン等の地域における自主的な介護予防活動を支援する。

内　容　　転倒骨折予防、認知症予防、介護予防教室（調理や脳トレ、体操など）

対象者　　65歳以上の高齢者及びその支援のための活動に関わる者

講　師　　歌体操、3B体操

令和2年度　転倒骨折予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数				2	1	1	1						5
参加人数				17	10	13	7						47

令和1年度

実施回数	1	1	2	1	2	1	2	1			1		12
参加人数	10	11	21	11	24	13	24	10			13		137

令和2年度　認知症予防

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数				1	1								2

令和1年度

実施回数	1	2	1	2	1	2	1		1		1		12

３．家族介護教室事業実績

目　　的　　高齢者を介護している家族及びボランティア等に対し、介護方法や介護予防及び介護者の健康作り等についての知識及び技術を習得させるための教室を開催することにより、高齢者を介護している家族等の身体的・精神的負担の軽減を図ると共に在宅福祉の向上及び介護予防に資することを目的とする。

協 力 機 関　　保健センター・社会福祉協議会　居宅介護支援事業所　介護保険対象事業所

開 催 場 所　　総合福祉施設なかやま幸梅園等

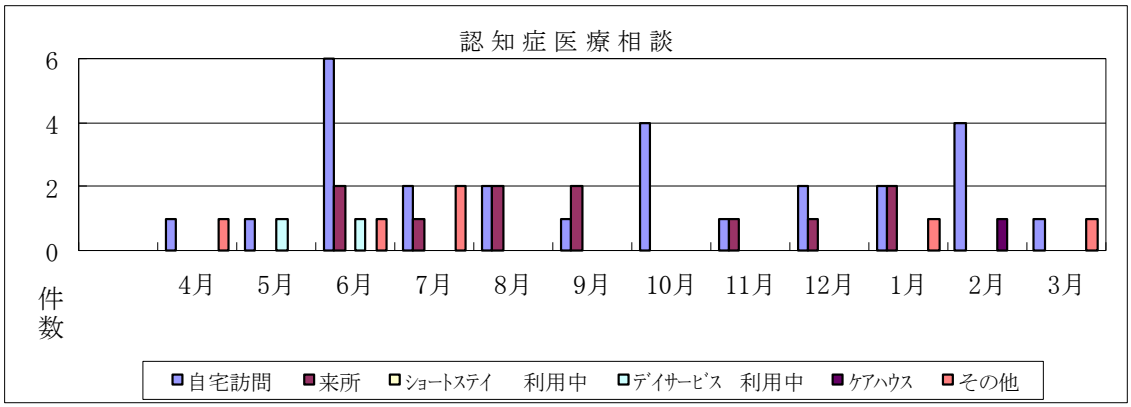
月	日	曜日	時 間	場　所	内　　容	講 師	参加人数
4	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
5	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
6	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。						
7	17	金	10:00～12:00	中山地区公民館第1会議室	脱水予防・熱中症予防	大塚製薬宮内	16
8	19	木	13:30～15:30	中山地区公民館第1会議室	福祉用具について	アクトヒューマンケア　高市	12
9	14	土	10:00～12:00	中山コミュニティーセンター	感染症予防について	保健センター小倉保健師	14
10	15	木	13:30～15:30	中山コミュニティーセンター	介護方法について	伊予市社協	7
11	17	火	13:30～15:30	中山コミュニティーセンター	健康講和　リハビリについて	理学療法士一ノ宮	14
12	14	月	13:30～15:30	中山コミュニティーセンター	紙おむつについて	紙商事三好一平	9
1	28	木	13:30～15:30	中山コミュニティーセンター	認知症について	愛媛大学病院尾﨑Dr	15
2	17	水	10:00～12:00	中山コミュニティーセンター	リハビリとストレッチ	理学療法士竹本	11
3	12	金	10:00～12:00	中山コミュニティーセンター	お薬について	トマト薬局担当　島岩	16

４．認知症相談

目　的　　認知症高齢者を抱える家族に対し、愛大精神科専門医による総合相談の実施。

実施日　　月2回程度

月別 / 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自宅訪問	1	1	6	2	2	1	4	1	2	2	4	1	27
来所			2	1	2	2		1	1	2			11
ショートステイ利用中													0
ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ利用中		1	1										2
ケアハウス											1		1
その他	1		1	2						1		1	6
合計	2	2	10	5	4	3	4	2	3	5	5	2	47



５．高齢者配食サービス事業

目　的　　訪問による定期的な食事の提供に併せて、高齢者の安否確認を行うことで、当該高齢者等の社会的孤立感を解消し、及び自立支援を図る。

対象者　　①65歳の一人暮らしの者で、身体虚弱等のため調理し食事することが困難である。
②65歳以上の者のみで構成する世帯の世帯主又は世帯員で、当該世帯主又は世帯員のいずれも身体虚弱等のため、調理し食事することが困難である。
③その他の理由（上記に類する具体的な理由がある）

・延べ利用数　　121名

・延べ配食数　　1,285食

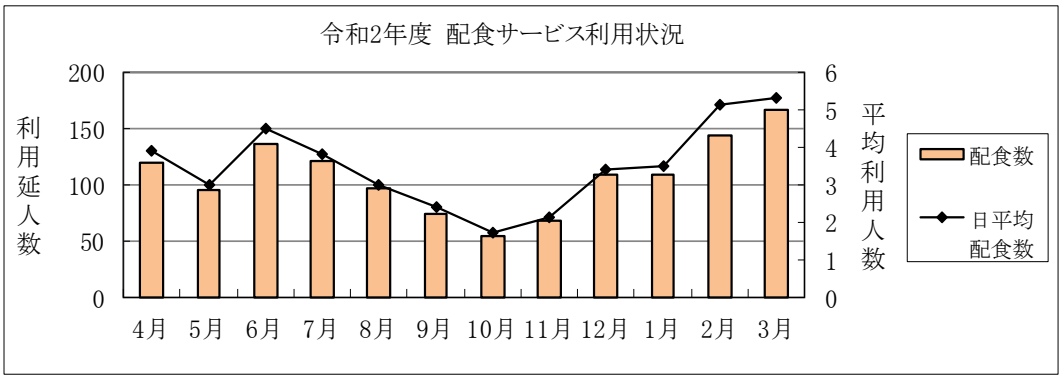
【月別利用人数及び配食数】

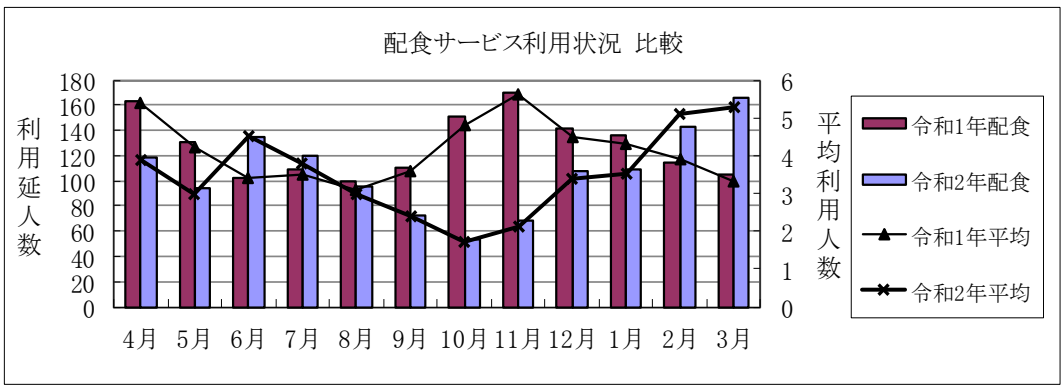
令和2年度

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配食数	119	94	135	120	96	73	54	68	108	109	143	166	1,285
利用人数	12	9	12	11	8	8	8	7	11	10	12	13	121
日平均配食数	3.9	3	4.5	3.8	3	2.4	1.7	2.1	3.4	3.5	5.1	5.3	3.5

令和1年度

配食数	163	131	102	109	99	110	151	170	141	136	114	105	1,504
利用人数	12	11	10	8	9	12	10	13	13	14	11	10	133
日平均配食数	5.4	4.2	3.4	3.5	3.1	3.6	4.8	5.6	4.5	4.3	3.9	3.3	4.1





中山コミュニティセンター

６．自主事業「がんばる会」

目　的　家で閉じこもりがちな、概ね60歳以上の高齢者の心身のリフレッシュ、生きがい作り及び自立生活の支援や社会的交流を図ることで、要支援・要介護状態にならないように予防する。 認知症予防、介護予防を目的とした教室を行う。

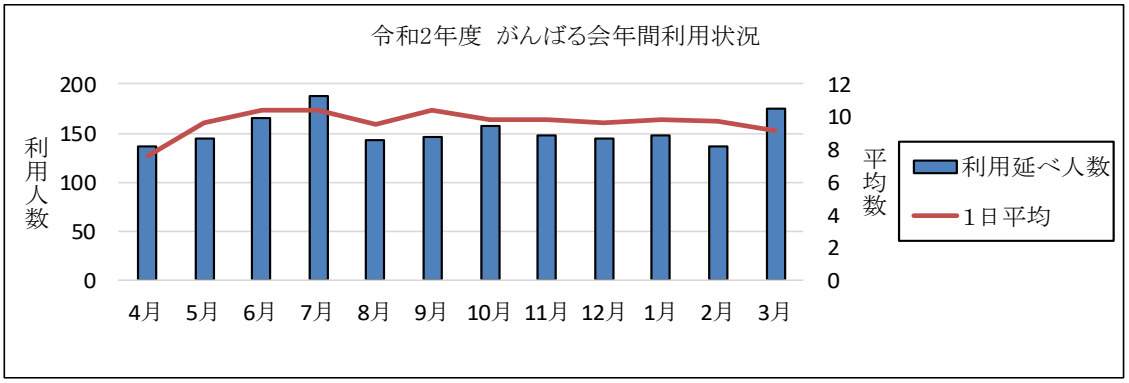
対象者　概ね60歳以上の高齢者

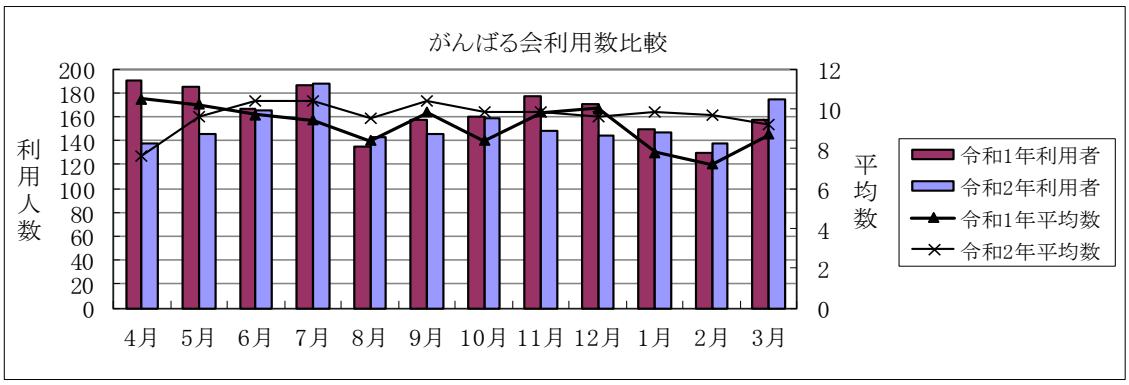
令和2年度

月　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日	18	15	15	18	15	14	16	15	15	15	14	19	189
利用延べ人数	137	145	165	188	143	146	158	148	144	147	137	175	1,833
1日平均	7.6	9.6	10.4	10.4	9.5	10.4	9.8	9.8	9.6	9.8	9.7	9.2	9.6

令和1年度

開設日	18	18	17	19	16	16	19	18	17	19	18	18	213
利用延べ人数	190	185	166	186	135	157	160	177	171	149	130	157	1,963
1日平均	10.5	10.2	9.7	9.4	8.4	9.8	8.4	9.8	10	7.8	7.2	8.7	9.2





７．施設管理と介護予防活動

目　的　公の施設として地域住民のだれもが気軽に利用できるよう管理運営を行う。また、地域の介護予防の拠点として、教室・相談等を通し地域住民へ介護予防の基本的な知識を普及啓発を行い。地域における自主的な介護予防活動を支援する。

令和2年度　中山コミュニティセンター　集会室

月　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数						2	2	1	4	4	3	4	20
利用人数						26	24	20	28	35	24	34	191
利用料						4,130	4,130	2,380	4,820	5,070	3,490	4,440	28,460

主な利用団体と内容　　オカリナサークル（教室）　個人（ダンス練習）　中山梅寿会（教室）

令和2年度　介護予防活動

月　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数						4	4	4	4	4	4	4	28
参加人数						41	28	30	27	23	30	24	203

活動内容　　ミカン丸体操　　いきいき教室（脳トレ、調理、創作レク、体操など）

8. 地域包括ケア相談窓口設置事業

令和2年度

月別 相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	15	27	32	20	19	24	24	36	22	23	22	28	292
保健福祉 サービス	2	3	4	2			5	3	1	1	1	1	23
権利擁護													0
虐待													0
その他	4	2		5		1		5				1	18
合計	21	32	36	27	19	25	29	44	23	24	23	30	333

令和1年度

月別 相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険	30	23	32	24	29	27	17	27	35	18	28	8	298
保健福祉 サービス		3	1								3	2	9
権利擁護													0
虐待													0
その他		2	1	4							1		8
合計	30	28	34	28	29	27	17	27	35	18	32	10	315

高齢者アセスメントシート作成件数

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症		2	3	2	1	2	2	1	2	2		2	19
見守り	3	1	1	3	2	2	2	4	1	1	3	2	25
移動手段 の確保	1												
交流促進													
買物支援													0
合計	4	3	4	5	3	4	4	5	3	3	3	4	45

令和1年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症	2	1	2	2	3		3	2	2		1	3	21
見守り	3	2	1	1		4		4	2	4	4	1	26
移動手段 の確保													
交流促進													
買物支援													0
合計	5	3	3	3	3	4	3	6	4	4	5	4	47

指定通所介護事業所　佐礼谷

【重点目標】

① リスク排除のため、必要に応じた業務の見直しと効率化を図り、安心で安全なサービスを提供する。

② 利用者個々の希望や、特性に応じたケアを柔軟に行い、計画的なレクリエーションや体操を行うことで、デイサービス利用の満足度を向上させる。

③ 事業所説明用のリーフレットを作成し、サロンや介護予防教室等で説明会や見学会を開き、地域からの理解と信頼を得ることで利用者の増加を目指す。

④ 地域住民・利用者家族・行政が参加する運営推進会議を定期的に開催し、提供しているサービス内容等の説明や意見交換等を実施することにより、サービスの質の向上を図る。

⑤ 医療依存度の高い利用者も安心して利用できるよう、医療機関及び各関係機関と連携し、適切なサービスの提供に努める。

⑥ 自然災害に備え、日頃より自助・互助・共助・公助の役割が果たせるよう、それぞれの連携が図れる訓練を実施する。また、緊急時には、情報収集、周囲の観察等を行いながら利用者、職員の安全を確保する。

【総合評価】

達成度(%)　75%

＜評価＞

① 85%

事故発生状況を分析し、休憩時間を見直すことで、見守り体制の強化を図り事故予防に繋げた。また、業務内容の担当を決めることで効率的に進めることができた。

② 85%

レクカレンダーを活用することで、計画的にレクリエーションや体操を実施できた。また、調理レクでは利用者が希望するメニューを計画することで、意欲的に取り組む利用者が増えた。

③ 40%

新型コロナウイルスの影響により、地域のサロンや、介護者教室への積極的な参加はできなかった。また、リーフレットの作成にも至らなかった。

利用希望者については、自宅訪問し、事業所の説明を行うことで新規利用に繋がった。

④ 85％

感染予防のため、運営推進会議の招集は行わず、書面での意見交換を行った。一方的な報告だけではなく、事業所に対する要望と回答を記載することで意見交換の内容を共有できた。

⑤ 85％

地域の医療機関等と連携することで、体調不良者への早期対応や感染症予防に繋がった。退院後や退所後の利用についても、適宜相談することで、可能な限りサービスに繋げることができ、新型コロナ感染者も発生しなかった。

⑥ 70％

火災訓練２回、風水害の訓練１回、地震の訓練１回を実施できたが、感染症予防のため、消防署員や地域住民を交えての訓練はできなかった。

７月豪雨の際、土砂災害が発生する恐れがあり、伊予市に報告後、幸梅園へ避難し、大きな被害はなかった。その他、台風や積雪の際にも、周囲の状況を確認しながら安全に事業を継続できた。

指定通所介護（介護予防）事業所　佐礼谷

【重点目標】

① リスク排除のため、必要に応じた業務の見直しと効率化を図り、安心で安全なサービスを提供する。

② 利用者個々の希望や、特性に応じたケアを柔軟に行い、計画的なレクリエーションや体操を行うことで、デイサービス利用の満足度を向上させる。

③ 事業所説明用のリーフレットを作成し、サロンや介護予防教室等で説明会や見学会を開き、地域からの理解と信頼を得ることで利用者の増加を目指す。

④ 自然災害に備え、日頃より自助・互助・共助・公助の役割が果たせるよう、それぞれの連携が図れる訓練を実施する。また、緊急時には、情報収集、周囲の観察等を行いながら利用者、職員の安全を確保する。

【総合評価】

達成度(%)　70%

＜評価＞

① 85%

事故発生状況を分析し、休憩時間を見直すことで、見守り体制の強化を図り事故予防に繋げた。また、業務内容の担当を決めることで効率的に進めることができた。

② 85%

レクカレンダーを活用することで、計画的にレクリエーションや体操を実施できた。また、調理レクでは利用者が食べたいメニューを決めることで、意欲的に取り組む利用者が増えた。

③ 40%

新型コロナウイルスの影響により、地域のサロンや、介護者教室への積極的な参加は実施できなかった。また、リーフレットの作成にも至らなかった。

利用希望者については、自宅訪問し、事業所の説明を行うことで新規利用に繋がった。

④ 70%

火災訓練２回、風水害の訓練１回、地震の訓練１回を実施できたが、感染症予防の為、消防署員や地域住民を交えての訓練はできなかった。

７月豪雨の際、土砂災害が発生する恐れがあり、伊予市に報告後、幸梅園へ避難することがあった。その他、台風や積雪の際にも、周囲の状況を確認しながら安全に事業を継続できた。

令和２年度

指定通所介護事業所 佐 礼 谷 利用実績

１．事業内容　区分: 通所介護〔地域密着型〕利用定員 18名

体制: 入浴介助体制〔あり〕加算

: 送迎体制　〔あり〕

２．開所日数　:　313 日　(稼働率:65.7%)

３．利用実績

(単位:人)

項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
実利用人数		34	38	36	31	31	33	34	31	32	30	29	32	391
介護度別利用者数	要支援1･2	45	48	45	48	46	47	44	26	30	27	26	33	465
	要介護1	67	91	92	75	73	76	91	99	86	81	99	125	1,055
	要介護2	88	92	58	67	76	77	83	57	73	55	53	57	836
	要介護3	88	85	86	83	80	71	80	67	75	51	35	31	832
	要介護4	19	21	21	21	40	46	35	38	37	35	32	33	378
	要介護5	18	18	20	14	8	9	9	8	10	9	8	9	140
	合 計	325	355	322	308	323	326	342	295	311	258	253	288	3,706
開所日数		26	26	26	27	26	26	27	25	27	26	24	27	313
1 日 平 均		12.5	13.7	12.4	11.4	12.4	12.5	12.7	11.8	11.5	9.9	10.5	10.7	11.8
延べ入浴者数		232	254	254	220	231	228	242	219	225	191	190	222	2,708
平均入浴者数		8.9	9.8	9.8	8.1	8.9	8.8	9.0	8.8	8.3	7.3	7.9	8.2	8.7

４．要介護度別利用者状況

介護度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援	7	7	7	7	7	7	6	5	5	5	5	7	75
要介護1	7	8	8	7	7	7	8	10	9	9	11	12	103
要介護2	8	10	8	6	6	7	8	5	6	5	4	4	77
要介護3	8	9	9	7	7	7	7	6	6	6	4	3	79
要介護4	2	2	2	2	3	4	4	4	4	4	4	5	40
要介護5	2	2	2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	17
合　計	34	38	36	31	31	33	34	31	32	30	29	32	391
平均介護度	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.1	2.0	1.9	1.8	2.0
要支援の割合	21%	18%	19%	23%	23%	21%	18%	16%	16%	17%	17%	22%	19%

５．介護度別利用者年齢構成

令和3年3月31日

介護度	要支援		要介護１		要介護２		要介護３		要介護４		要介護５		合計
性別 / 年齢階層	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
65才～69才													
70才～79才										1			1
80才～89才		4	1	4	1	2				2			14
90才～	1	2	3	4	1		2	1		2		1	17
総計	7		12		4		3		5		1		32

６．地域別利用者数

月 / 地域名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
佐礼谷	24	29	27	24	24	26	26	23	24	22	21	22	292
中山	7	6	5	4	4	3	4	4	4	4	4	4	53
双海	3	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	6	47
合計	34	39	36	31	31	33	34	31	32	30	29	32	392
佐礼谷割合(%)	70.6	74.4	75.0	77.4	77.4	78.8	76.5	74.2	75.0	73.3	72.4	68.8	74.5

7．年間利用状況推移

月 / 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	245	227	214	213	237	231	235	234	253	253	227	268	2,837
平成29年度	253	261	271	283	257	307	323	307	285	251	244	273	3,315
平成30年度	307	341	352	320	301	310	367	339	312	266	245	303	3,763
令和1年度	306	316	278	293	274	257	276	287	280	252	276	288	3,383
令和2年度	325	355	322	308	323	326	342	295	311	258	253	288	3,706

8.事故状況　（医療機関受診を伴う事故）

No.	月　日	性別	事故内容	発生場所	事故状況	対応・処置内容等
1	4月21日	女	誤薬	デイルーム	朝の服薬時に夕の薬も一緒に服用した。	主治医に報告 翌日、定期受診の際ため診察し、異常なし

事故発生状況　2020　通所介護事業所 佐礼谷

発生場所＼発生内容	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有					1							1
	無											1	1
居 室	有												
	無												
食 堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無	1										1	2
浴 室	有												
	無				1								1
デイルーム（娯楽室）	有												
	無												
施設外	有												
	無												
その他	有												
	無	1											1
小 計	有					1							1
	無	2			1							2	5
合 計		2			1	1						2	6

（評価）

トイレ内での事故が2件発生し、いずれも職員の見守りが十分に行われていなかったため発生した。トイレ誘導後の見守りや、タイマーを活用をすることで空白の時間を少なくする対応を実施する。

ヒヤリハット件数　　５件

9.苦情発生の状況

苦情発生なし

指定通所介護事業所　野中

【重点目標】

① 利用者の心身機能に応じた活動内容（手芸・園芸・音楽・運動・喫茶等）の選択肢を増やし、内容を充実させることで各利用者のニーズに応える。また、外出・調理については利用者からの要望も多いことから、今後も計画的に実施する。

② 各種活動や機能訓練を実施することで、日常生活機能の維持・拡大を図り、利用者自身のできることを増やし、住み慣れた地域での生活が維持できるよう支援する。

③ 地域密着型施設の特性を活かし､季節ごとの地域の社会資源を積極的に取り入れて、社会交流の機会を多く提供する。

④ ミニデイサービスや地域の集まりに定期的に参加し、介護に必要な知識や認知症に関する勉強会等を実施すると共に、情報交換を行い、要介護状態や認知症になっても安心して暮らせる地域作りへの協力、連携体制の構築を図る。

⑤ 地域住民・利用者家族・行政が参加する運営推進会議を定期的に開催し、提供しているサービス内容等をわかりやすく紹介し、地域に開かれた事業所とすることで、サービスの質の確保を図る。

⑥ 医療依存度の高い利用者もサービスを受けられるようサービス内容を検討し、医療機関との連携による情報の共有を図り、円滑な受け入れができるよう整備する。

⑦ 定期的に内部研修を実施することで職員のスキルアップを目指すと共に、外部研修にも積極的に参加し、知識の幅を持たせることにより、よりよい介護方法や提案を増やし、質の高いサービス提供に繋げる。

⑧ 自然災害等、緊急時に備えて地元消防団及び、防災組織等と具体的な協力、連携体制の構築を図る。

【総合評価】

達成度(%)　70%

＜評価＞

① 70%

園芸や工作等継続的に行うことで、意欲・自発性の向上に繋がった。調理レクに関しては利用者の希望を確認しながらの実施ができた。外出行事は、新型コロナウイルスの影響で実施ができなかった。敷地内の散歩等を行い季節が感じられるよう取り組んだ。

② 70%

各自の日常生活動作の状態を確認し、その人に応じた体操や活動を実施すること

ができた。在宅での生活状況の確認はしたが、全員の確認はできなかった。

③ 70%

野中ふれあい館の運動場を散歩する等、可能な範囲で社会資源の活用ができた。しかし、新型コロナウイルスの影響で社会資源の活用は、部分的なものであった。

④ 70%

新型コロナウイルスの影響で、継続的に地域で実施されているミニデイサービスへの参加はできなかった。送迎時等に地域の人と会った時に、声をかけることで交流を持つことができた。

⑤ 85%

定期的に運営推進会議を開催することで、地域の各役員と情報交換ができると共に、事業所から情報発信し、事業運営に関する協力体制の構築に繋がった。

新型コロナウイルスの影響で、集まって会議を実施することはできなかったが、文面や電話等で意見の交換はすることができた。

⑥ 85%

医療的処置が必要な利用者でも、医療機関と連携しながら通常通りの受け入れができた。必要な処置や対応をすることで、在宅生活の維持に繋がった。

⑦ 70%

外部研修への参加は、新型コロナウイルスの影響で実施できなかったが、インターネット等を活用し、園内の勉強会をすることで、知識・技術の向上に繋がった。

⑧ 70%

新型コロナウイルスの影響で、地域住民との合同訓練は実施できなかった。災害時の協力について、定期的に依頼することはできた。

指定通所介護（介護予防）事業所　野中

【重点目標】

① 利用者の心身機能に応じた活動内容（手芸・園芸・音楽・運動・喫茶等）の選択肢を増やし、内容を充実させることで各利用者のニーズに応える。また、外出・調理については利用者からの要望も多いことから、今後も計画的に実施する。

② 各種活動や機能訓練を実施することで、日常生活機能の維持・拡大を図り、利用者自身のできることを増やし、住み慣れた地域での生活が維持できるよう支援する。

③ 季節ごとの地域の社会資源を積極的に取り入れて、社会交流の機会を多く提供する。

④ ミニデイサービスや地域の集まりに定期的に参加し、介護に必要な知識や認知症に関する勉強会等を実施すると共に、情報交換を行い、要介護状態や認知症になっても安心して暮らせる地域作りへの協力、連携体制の構築を図る。

⑤ 定期的に内部研修を実施することで職員のスキルアップを目指すと共に、外部研修にも積極的に参加し、知識の幅を持たせることにより、よりよい介護方法や提案を増やし、質の高いサービス提供に繋げる。

⑥ 自然災害等、緊急時に備えて地元消防団及び、防災組織等と具体的な協力、連携体制の構築を図る。

【総合評価】

達成度（%）　70%

＜評価＞

① 70%

園芸や工作等継続的に行うことで、意欲・自発性の向上に繋がった。調理レクに関しては利用者の希望を確認しながらの実施ができた。外出行事は、新型コロナウイルスの影響で実施ができなかった。敷地内の散歩等を行い季節が感じられるよう取り組んだ。

② 70%

各自の日常生活動作の状態を確認し、その人に応じた体操や活動を実施することができた。在宅での生活状況の確認はしたが、全員の確認はできなかった。

③ 70%

野中ふれあい館の運動場を散歩する等、可能な範囲で社会資源の活用ができた。しかし、新型コロナウイルスの影響で社会資源の活用は、部分的なものであった。

④ 70%

新型コロナウイルスの影響で、継続的に地域で実施されているミニデイサービスへの参加はできなかった。送迎時等に地域の人と会った時に、声をかけることで

交流を持つことができた。

⑤ 70%

外部研修への参加は、新型コロナウイルスの影響で実施できなかったが、インターネット等を活用し、園内の勉強会をすることで、知識・技術の向上に繋がった。

⑥ 70%

新型コロナウイルスの影響で、地域住民との合同訓練は実施できなかった。災害時の協力について、定期的に依頼することはできた。

令和2年度

指定通所介護事業所 野 中 利用実績

１．事業内容　区分: 通所介護〔単独型〕利用定員 16名
体制: 入浴介助体制〔あり〕加算
: 送迎体制　〔あり〕

２．開所日数　:　365 日　（稼働率:63.2%）

３．利用実績

（単位:人）

項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
実利用人数		35	36	36	36	36	37	35	33	31	30	27	25	397
介護度別利用者数	要支援1･2	44	48	46	47	44	36	41	38	35	25	23	26	453
	要介護1	119	121	120	122	114	115	111	107	104	101	103	101	1,338
	要介護2	65	81	76	85	77	88	73	66	84	69	58	90	912
	要介護3	60	63	56	45	40	42	45	24	49	39	35	35	533
	要介護4	34	31	38	33	54	56	41	30	26	26	35	41	445
	要介護5						5	2						7
	合 計	322	344	336	332	329	342	313	265	298	260	254	293	3,688
1日平均		10.7	11.1	11.2	10.7	10.6	11.4	10.1	8.8	9.6	8.4	9.1	9.5	10.1
月～土曜日平均		11.9	12.6	12.5	11.7	11.9	12.3	11.1	9.6	10.6	9.3	10.2	10.5	11.2
日曜日平均		3.0	3.4	2.5	4.0	3.8	5.5	3.0	3.0	2.8	3.6	2.3	2.3	3.3
延べ入浴者数		238	246	250	250	248	258	234	208	230	182	189	221	2,754
平均入浴者数		7.9	7.9	8.3	8.1	8.0	8.6	7.5	6.9	7.4	5.9	6.8	7.1	7.5
野中地区の利用者数		152	170	159	138	141	145	156	135	139	119	112	144	1,710
野中地区の利用者割合		47%	49%	47%	42%	43%	42%	50%	51%	47%	46%	44%	49%	46%

４．要介護度別利用者状況

介護度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援	7	7	7	7	7	6	6	6	5	4	4	4	70
要介護1	13	12	12	12	11	12	11	12	11	10	10	8	134
要介護2	5	7	6	7	7	8	7	6	7	8	6	7	81
要介護3	7	7	8	7	7	6	6	5	6	5	4	3	71
要介護4	3	3	3	3	4	4	4	4	2	3	3	3	39
要介護5						1	1						2
合　計	35	36	36	36	36	37	35	33	31	30	27	25	397
平均介護度	1.7	1.74	1.76	1.74	1.82	1.89	1.91	1.76	1.73	1.83	1.78	1.8	1.79
要支援の割合	20%	19%	19%	19%	19%	16%	17%	18%	16%	13%	15%	16%	18%

５．介護度別利用者年齢構成

令和3年3月31日現在

介護度	要支援		要介護１		要介護２		要介護３		要介護４		要介護５		合計
性別 / 年齢階層	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
65才～69才													
70才～79才		1				2							3
80才～89才		1	2	3	1			1		2			10
90才～		2		3	3	1		2		1			12
総計	4		8		7		3		3				25

６．年間利用状況推移

月 / 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	204	232	211	262	264	243	243	221	213	202	194	211	2,700
平成29年度	207	220	238	245	231	228	226	232	230	226	207	276	2,766
平成30年度	273	306	299	320	368	327	368	344	340	310	298	310	3,863
令和1年度	318	321	316	345	308	320	347	273	258	260	292	323	3,681
令和2年度	322	344	336	332	329	342	313	265	298	260	254	293	3,688

7.事故発生の状況 （医療機関受診を伴う事故）

No.	月　日	性別	事故内容	発生場所	事故状況	対応･処置内容等
1	11月7日	女	その他（ムカデにかまれた）	デイルーム	デイルームで座っている際に、手の上にムカデがおり、掃おうとした際にムカデにかまれた	患部の吸い出しをし、病院受診をした。痒み止めの注射をし、痛み止めと軟膏が処方され様子観察となった

事故発生状況　2020　通所介護事業所 野中

発生場所＼発生内容	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無												
居 室	有												
	無												
食 堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無	1											1
浴 室	有												
	無									1			1
デイルーム（娯楽室）	有											1	1
	無	1					2	1					4
施設外	有												
	無	1										1	2
その他	有												
	無												
小 計	有											1	1
	無	3					2	1		1		1	8
合 計		3					2	1		1		2	9

誤薬や薬の飲み忘れ等の服薬に関する事故が２件、アレルギーのある食品を食べてしまう事故が1件発生した。確認不足や思い込みによる配薬・配膳のミスが原因である。
今後は、服薬・配膳共に有効的なチェック体制の構築を図り、ミスの発見をすることで防げる事故を防ぐよう取り組む。

ヒヤリハット　8件

8.苦情発生の状況

苦情発生なし

短期入所生活介護事業所　野中

【重点目標】

① 夜間帯の様子など、生活全般について細かく観察することで、認知症等をはじめとする様々な生活課題に対して、ケアの検討や環境整備等に取り組み精神安定を図る。

② 利用者の心身機能に応じた活動内容（手芸・園芸・音楽・運動・喫茶等）の選択肢を増やし、内容を充実させることで各利用者のニーズに応える。また、外出・調理については利用者からの要望も多いことから、今後も計画的に実施する。

③ 各種活動や機能訓練を実施することで、日常生活機能の維持・拡大を図り、利用者自身のできることを増やし、住み慣れた地域での生活が維持できるよう支援する。

④ 季節ごとの地域の社会資源を積極的に取り入れて、社会交流の機会を多く提供する。

⑤ ミニデイサービスや地域の集まりに定期的に参加し、介護に必要な知識や認知症に関する勉強会等を実施すると共に、情報交換を行い、要介護状態や認知症になっても安心して暮らせる地域作りへの協力、連携体制の構築を図る。

⑥ 医療依存度の高い利用者もサービスを受けられるようサービス内容を検討し、医療機関との連携による情報の共有を図り、円滑な受け入れができるよう整備する。

⑦ 定期的に内部研修を実施することで職員のスキルアップを目指すと共に、外部研修にも積極的に参加し、知識の幅を持たせることにより、よりよい介護方法や提案を増やし、質の高いサービス提供に繋げる。

⑧ 自然災害等、緊急時に備えて地元消防団及び、防災組織等と具体的な協力、連携体制の構築を図る。

【総合評価】

達成度(%)　70%

＜評価＞

① 85%

生活全般の状態を観察し、生活課題を把握することで、個別の対応に繋がった。また、事業所間での情報の共有もできた。

② 70%

園芸や工作等継続的に行うことで、意欲・自発性の向上に繋がった。調理レクに関しては利用者の希望を確認しながらの実施ができた。外出行事は、新型コロナウイルスの影響で実施ができなかった。敷地内の散歩等を行い季節が感じられるよう取り組んだ。

③ 70%

各自の日常生活動作の状態を確認し、その人に応じた体操や活動を実施することができた。在宅での生活状況の確認はしたが、全員の確認はできなかった。

④ 70%

野中ふれあい館の運動場を散歩する等、可能な範囲で社会資源の活用ができた。しかし、新型コロナウイルスの影響で社会資源の活用は、部分的なものであった。

⑤ 70%

新型コロナウイルスの影響で、継続的に地域で実施されているミニデイサービスへの参加はできなかった。送迎時等に地域の人と会った時に、声をかけることで交流を持つことができた。

⑥ 85%

医療的処置が必要な利用者でも、医療機関と連携しながら通常通りの受け入れができた。必要な処置や対応をすることで、在宅生活の維持に繋がった。

⑦ 70%

外部研修への参加は、新型コロナウイルスの影響で実施できなかったが、インターネット等を活用し、園内の勉強会をすることで、知識・技術の向上に繋がった。

⑧ 70%

新型コロナウイルスの影響で、地域住民との合同訓練は実施できなかった。災害時の協力について、定期的に依頼することはできた。

短期入所生活介護（介護予防）事業所　野中

【重点目標】

① 夜間帯の様子など、生活全般について細かく観察することで、認知症等をはじめとする様々な生活課題に対して、ケアの検討や環境整備等に取り組み精神安定を図る。

② 利用者の心身機能に応じた活動内容（手芸・園芸・音楽・運動・喫茶等）の選択肢を増やし、内容を充実させることで各利用者のニーズに応える。また、外出・調理については利用者からの要望も多いことから、今後も計画的に実施する。

③ 各種活動や機能訓練を実施することで、日常生活機能の維持・拡大を図り、利用者自身のできることを増やし、住み慣れた地域での生活が維持できるよう支援する。

④ 季節ごとの地域の社会資源を積極的に取り入れて、社会交流の機会を多く提供する。

⑤ ミニデイサービスや地域の集まりに定期的に参加し、介護に必要な知識や認知症に関する勉強会等を実施すると共に、情報交換を行い、要介護状態や認知症になっても安心して暮らせる地域作りへの協力、連携体制の構築を図る。

⑥ 定期的に内部研修を実施することで職員のスキルアップを目指すと共に、外部研修にも積極的に参加し、知識の幅を持たせることにより、よりよい介護方法や提案を増やし、質の高いサービス提供に繋げる。

⑦ 自然災害等、緊急時に備えて地元消防団及び、防災組織等と具体的な協力、連携体制の構築を図る。

【総合評価】

達成度(%)　70%

＜評価＞

① 85%

生活全般の状態を観察し、生活課題を把握することで、個別の対応に繋がった。また、事業所間での情報の共有もできた。

② 70%

園芸や工作等継続的に行うことで、意欲・自発性の向上に繋がった。調理レクに関しては利用者の希望を確認しながらの実施ができた。外出行事は、新型コロナウイルスの影響で実施ができなかった。敷地内の散歩等を行い季節が感じられるよう取り組んだ。

③ 70%

各自の日常生活動作の状態を確認し、その人に応じた体操や活動を実施することができた。在宅での生活状況の確認はしたが、全員の確認はできなかった。

④ 70%

野中ふれあい館の運動場を散歩する等、可能な範囲で社会資源の活用ができた。しかし、新型コロナウイルスの影響で社会資源の活用は、部分的なものであった。

⑤ 70%

新型コロナウイルスの影響で、継続的に地域で実施されているミニデイサービスへの参加はできなかった。送迎時等に地域の人と会った時に、声をかけることで交流を持つことができた。

⑥ 70%

外部研修への参加は、新型コロナウイルスの影響で実施できなかったが、インターネット等を活用し、園内の勉強会をすることで、知識・技術の向上に繋がった。

⑦ 70%

新型コロナウイルスの影響で、地域住民との合同訓練は実施できなかった。災害時の協力について、定期的に依頼することはできた。

令和2年度

短期入所生活介護事業所 野 中 利用実績

1．事業内容　区分: 短期入所生活介護〔単独型〕基準該当
体制: 送迎体制〔あり〕

2．開所日数　: 365 日

■ 利用定員　: 6名

■ 稼働率　: 98.4%

■ サービス期間　: 令和2年4月1日～令和3年3月31日

3．利用実績

項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用者数		13	13	14	13	12	14	18	13	12	13	12	16	163
介護度別利用状況	要支援							3						3
	要介護1	18	19	18	20	24	21	30	25	24	24	26	34	283
	要介護2	26	21	24	35	31	32	35	42	61	65	61	45	478
	要介護3	88	93	94	74	78	80	77	52	47	34	34	57	808
	要介護4	48	49	44	52	51	46	29	56	53	57	45	52	582
	要介護5													
	合 計	180	182	180	181	184	179	174	175	185	180	166	188	2,154
	1日平均	6.0	5.9	6.0	5.8	5.9	6.0	5.6	5.8	6.0	5.8	5.9	6.1	5.9
平均介護度		2.77	2.77	2.79	2.69	2.75	2.71	2.53	2.62	2.42	2.46	2.58	2.63	2.64
送迎利用実績		50	52	54	56	57	60	58	47	52	46	56	55	643
野中地区の利用者数		72	67	70	76	72	66	68	78	82	92	83	77	903
野中地区の利用者割合		40%	37%	39%	42%	39%	37%	39%	45%	44%	51%	50%	41%	42%

4．年間利用状況推移

年度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
平成28年度	164	175	178	170	178	172	168	160	164	172	160	185	2,046
平成29年度	178	180	170	168	183	177	186	176	178	173	163	177	2,109
平成30年度	183	183	180	183	178	178	185	176	186	159	167	174	2,132
令和1年度	177	187	173	182	180	179	182	173	182	170	164	178	2,127
令和2年度	180	182	180	181	184	179	174	175	185	180	166	188	2,154

５.事故発生の状況　（医療機関受診を伴う事故）

No.	月　日	性別	事故内容	発生場所	事故状況	対応・処置内容等
1	5月4日	女	その他（爪剥がれ）	居室	居室にて、靴下を脱ぐ時に爪が剥げているのを発見した	爪が動かないように固定し、病院受診をした。剥がれている爪を切除して、消毒・ガーゼ保護をした
2	8月3日	女	ずり落ち	居室	休んでいる際に、自力でポータブルトイレを使用しようとして、ベッドからずり落ちた	右足背の痛みの訴えがあり、病院受診をした。骨には異常はなく捻挫でしょうとのことで、湿布を貼って安静とした

事故発生状況　2020　短期入所生活介護事業所 野中

発生場所＼発生内容	受診の有無	転倒	転落	ずり落ち	衝突	誤嚥	誤薬	異食	離園	表皮剥離	利用者同士のトラブル	その他	合計
ホール	有												
	無												
居 室	有			1								1	2
	無												
食 堂	有												
	無												
トイレ	有												
	無												
浴 室	有												
	無												
デイルーム（娯楽室）	有												
	無	1		1			1						3
施設外	有												
	無											1	1
その他	有												
	無												
小 計	有			1								1	2
	無	1		1			1					1	4
合 計		1		2			1					2	6

環境整備や職員の対応を検討することで居室における事故は少ない状態を維持できた。居室で起きた2件とも病院受診が必要な事故となってしまったので、予防策と軽減策をバランス良く検討し、受診を伴う事故を減らしていく。

ヒヤリハット　8件

６.苦情発生の状況

苦情発生なし

地域活動支援センター　くりのみ

【重点目標】

（生きがい支援）

① 通常の活動に調理をする時間をつくり、自宅でも作れるメニューに挑戦する。その中で、バザー販売できる商品開発に繋げる。

② 関係機関、部署と情報を共有し生活能力に応じた支援をする。

③ くりのみ会では、ボランティアや家族等にも参加を呼び掛けることで活動を充実させる。また、外出先は行ったことのない場所や経験したことのない活動を取り入れる。

（相互理解）

④ 利用者や協力者が増えるよう、事業所の活動を啓発する方法を考える。

⑤ 「あいのわ」に参加することで、利用者が地域住民と活動できる機会を探す。

⑥ 月１回のくりのみ勉強会に「くりのみ活動報告・意見交換会」を取り入れ、参加者からの意見を聞くことで今後の活動に生かす。

【総合評価】

達成度（%）　70%

＜評価＞

① 80%

季節にあった調理を提供し、希望者にはレシピを配布したが、１回の調理の経験で「自宅でも調理をした。」という声はなかった。今後も利用者の希望を伺いながら調理メニューを考える。また、調理に時間を要するメニューが多く、バザー商品にはできないため簡単に調理できるメニューも考える。

② 90%

関係機関が主催する担当者会議に参加し、その情報をくりのみのミーティング時に情報共有した。観察が必要な利用者に対しては振り返りを行った。

③ 50%

コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアと利用者の交流は実施できなかったが、家族会と職員との交流会は実施した。（しめ縄作り）

④ 90%

イベントが中止となり、バザーや交流会に参加する機会がなかったが、愛媛県社会福祉事業団が主催する芸術イベントには、作品展示という形で出展し、事業所の活動の啓発を行った。また、その作品は、伊予市役所のロビーでも展示された。

⑤ 50%

活動は参加しているが、交流するきっかけは見つかっていない。

⑥ 60%

家族を対象とした座談会の際、くりのみの活動状況を伝えるようにしたが、今年度は、くりのみ利用者の家族は参加していない。

（１）年間行事

令和2年度		行 事 内 容	参加人数	場　所
令和2年	4月　3日	お菓子作り（豆腐ドーナツ）・お花見散歩	14	地域活動支援センターくりのみ
	4月　24日	筍掘り	12	中山町内
	5月　22日	地域清掃	13	旧中山保育園付近
	7月　31日	和菓子作り（柏餅）	10	地域活動支援センターくりのみ
	9月　18日	芋炊き作り	11	地域活動支援センターくりのみ
	10月　10日	障がい者芸術文化祭（作品展示のみ）	0	松山市大街道
	11月　13日	栗おこわ、はもの天ぷら	11	地域活動支援センターくりのみ
	12月　18日	クリスマスケーキ作り	12	地域活動支援センターくりのみ
令和3年	1月　22日	新年会（持ち帰りグルメ）	12	地域活動支援センターくりのみ
	2月　12日	バレンタインのお菓子作り（チョコパフェ）	10	地域活動支援センターくりのみ
	3月　12日	ホワイトデーお菓子作り（クッキー）	11	地域活動支援センターくりのみ
	3月　26日	お花見散歩	13	地域活動支援センターくりのみ

（２）利用実績

令和2年度	利用実人員	利用延人員	開所日数	1日あたりの平均利用者数	令和１年	平成30年
4月	17	208	21	9.9	9.2	11.7
5月	17	186	18	10.3	9.8	12.1
6月	19	219	22	9.9	9.1	12.4
7月	17	196	21	9.3	10.3	12.9
8月	16	171	19	9.0	9.9	11
9月	16	187	20	9.4	9.5	10.2
10月	17	206	22	9.4	10.3	9.7
11月	16	194	19	10.2	11.2	10
12月	16	213	20	10.7	11.2	10.4
1月	18	195	19	10.3	11.1	10.3
2月	16	182	18	10.1	11.1	11.3
3月	16	247	23	10.7	10.2	10.5
計	201	2,404	242	10	10	11

指定相談支援事業所　　くりのみ

【重点目標】

（ネットワーク）

① 山サミット（障がいを持つ当事者の家族が集まれる場）の企画、精神障害者家族懇談会に参加し、家族が参加しやすい内容を考える。

② 南予方面の相談支援実施状況について研修会に参加する等、情報収集や関係機関と繋がり、今後のサービス提供地域の可能性を検討する。

（支援の質の向上）

③ 相談支援専門員の定例会等の会に参加し、「地域移行・地域定着支援の実施状況」の情報収集や「困難事例」や「ひきこもり」について事例をあげて、今後の支援方法について関係機関の意見も取り入れながら支援内容を考える機会にする。

④ 障害児サービス事業所定例会に参加し、教育・相談支援、事業所等の様々な視点から支援を考える。また、関係事業所を訪問することで事業所の取り組みについて理解を深める。

【総合評価】

達成度(%)　70%

＜評価＞

① 60%

「山サミット」から「あゆみ会」に名称を変更した。町内だけでは参加者を募っても集まらないため、今後は伊予市方面の家族にも参加者を募る予定である。

② 50%

研修等で南予方面に出る機会がなかった。しかし、内子町にある地域活動支援センターとは、コロナ禍での活動について情報交換を行った。

③ 90%

定例会に参加し、事例検討を行った。また、中予保健所主催の高次脳機能障害の会では事例発表を行い、様々な職種との意見交換を行った。

④ 80%

家族が事業所を見学する際同席し、事業所の活動や送迎の状況について聞き取りをした。中山町内や双海方面の児童に対して、家族の希望する日数に対して一事業所では送迎対応が難しいことが判明した。

一般相談

1.相談支援を利用している障害者等の人数

（人）

		実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	計
R2	障害者	19	0	0	3	14	1	1	0	38
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R1	障害者	14	1	0	2	11	0	0	0	28
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H30	障害者	24	0	0	5	19	0	0	0	48
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H29	障害者	19	1	0	6	10	1	0	1	38
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H28	障害者	21	1	0	6	14	0	0	0	42
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2.支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
R2	42	9	13	78	19	10	112	20	303
R1	15	9	7	78	4	3	105	16	237
H30	33	4	13	69	4	2	178	16	319
H29	28	11	31	52	21	2	188	16	349
H28	27	6	7	43	16	12	182	19	312

3.支援内容

	福祉サービス	障害理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係	家計・経済	生活技術	就労
R2	127	32	37	21	2	12	28	62	7
R1	5	11	35	15	0	1	23	141	8
H30	91	31	102	21	0	15	44	86	17
H29	28	25	68	10	2	10	38	171	28
H28	76	28	63	57	0	13	51	71	4

	社会参加余暇	権利擁護	その他	計
R2	7	0	46	381
R1	0	3	9	297
H30	2	4	10	423
H29	4	2	20	406
H28	5	8	15	391

特定相談

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	5	4	2	0	1	4	8	6	5	9	6	3	53
継続相談	12	16	12	12	15	13	7	10	11	1	10	17	136

令和1年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	6	5	8	1	3	13	7	6	4	4	3	4	64
継続相談	7	3	5	9	9	3	6	7	10	11	11	10	91

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	7	4	4	2	3	4	9	4	5	7	4	5	58
継続相談	6	6	8	8	7	9	6	7	3	4	3	12	79

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	6	4	5	4	3	3	6	3	9	3	5	4	55
継続相談	4	10	6	9	13	10	9	5	6	8	8	12	100

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	7	6	5	2	3	5	6	3	8	2	8	5	60
継続相談	5	6	8	10	9	6	6	8	5	10	6	7	86